

調査資料 No. 60

# パラナ州における戦後雇用農の概況

(雇用農家実態調査報告)

(1966年3月)

海外移住事業団

国際協力事業団

受入 月日	'84. 8. 21	703
		81
登録No.	13339	EM

## 目 次

ま え が き

調 査 概 況 .....	1
パラナ州の概況 .....	3
自然条件 .....	4
社会条件 .....	9
主農産物 .....	11
パラナ州在住移住者の概況 .....	13
地域別概況 .....	13
都道府県別移住者数 .....	24
州別年次別入植者数 .....	24
耕作状況 .....	25
移動回数 .....	26
子弟の伯国における就学現況 .....	27
雇用農の賃金 .....	28

調査結果集計表（表 1～57）

（図 1～4）

パラナ州略図

JICA LIBRARY



1025327[6]

## ま え が き

当事業団サンパウロ支部は、昭和39年実施のサンパウロ州における雇用農家の調査に引続き、昭和40年にはパラナ州在住の日系雇用農家の実態調査を行ない、その調査結果をとりまとめたが、調査・集計に予想外の日時を費したことなどのため主観を混えた解説や集計表の取捨選択を極力排して、ありのままの姿を案地のまま読者各位に提供し、大方の研究の資に供することとした。

なお、これら集計表を検討される場合の便のため、前段にはパラナ州についてやゝ詳細に述べ、これら移住者をとりかこむ自然的、社会的背景について予備知識を得られるよう取計らったつもりである。

1966年3月

業務才2部

# 調 査 概 況

## 1. 目 的

パラナ州における戦後移住者（特に雇用農）の営農及び定着現況を把握し、実態に即した移住地指導対策を講ずる事を目的として調査した。

## 2. 調査地域及び対象者

パラナ州全域の現在農業を営んでいる戦後移住者。

## 3. 調査期間

イ 調 査 1965.10 ～ 12月（3ヶ月）

ロ 集 計 66. 1 ～ 2月（2ヶ月）

## 4. 調 査 員

調査事務局長	小 島 俊 朗	
調 査 主 任	上 園 義 房	
	竹 中 仙 三	
	長谷川 勝 久	
調査員（班長）	原 田 孝 夫	ロンドリーナ事業所職員
	堀 内 登	
	百 武 幸 二	
	登 内 利 一	
	伊 達 颯 郎	
	相 坂 大 紘	
	谷 広 海	
	知 念 直 義	
	金 子 昭 剛	
	広 瀬 行 輝	
	竹 田 安 宏	
集計員 主任	上 園 義 房	
	竹 中 仙 三	
	竹 田 安 宏	
	武 田 昌 治	

宮 里 昌 助

星 澄 子

5. 調査方法

個別面接による聞きとりの方法によった。

## パラナ州の概況

資料によるとパラナ州はサンパウロの管轄内であったと云われている。当初は県政であり、1853年8月パラナ県が誕生している。首県都グリチーバ市には既に300家族約6,000人が居住していたと云われ農商業の南パラナ発展の地となっている。又、北パラナはパラナ州境オウリニョスを起点にテラロシヤを求めてコーヒーを主とした農産物による人口増加が奥地へと発展して来たものである。

パラナ州は約35年間県政が布かれていたが1889年11月15日パラナ州となり、その後発展振りは驚異的になっている。

現在迄の人口増加をみると、

1853年	62,250人
1872年	126,720人
1900年	327,130人
1920年	685,710人
1940年	1,236,270人
1950年	2,115,540人
1960年	4,277,760人

1935年頃よりコーヒー、マテ茶、棉の栽培者が激増して来ている。近年においても南パラナは勿論、北パラナのロンドリーナ、マリంగా市を中心としてその開発はめざましく表2の如く1964年9月現在のパラナ州の人口は全ブラジルの79,837,000人に対し5,625,000人である。

この人口増加に対し日系人の躍進も大きく今回の調査時点における日系人の分布状況は表1の通りである。(日系人家族中○印の地区は推定人口である)この日系人13,099家族78,594人はパラナ州の各分野において活躍している事は云う迄もなく50余年の歴史をもつ邦人は既に三世の世代に移っている。戦後の移住者も農業より相当数の者が商工業へと変わりつつあり、特に戦後移住者の子弟(特に二世)は農業の以外の産業に進出の希望が多い。

参考迄に1963年の各国からのブラジル国移民数を調べてみると表3の通りである。

## 1. 自然条件

### 気候

パラナ州は標高に変化の多い温帯高原地に属するため、海岸地帯の暑い処から、高原の谷川沿岸の涼しい処まであり、ヨーロッパの気候に似ている。これがパラナ州に於けるヨーロッパの白色人移民の定着した最大の自然条件であり、今日の同明に於ける人種構成に大きくえいきょうしている。

温度は他の気候の要素に比べて最も重要であるが緯度と標高に直接関係があり影響する。標高5mのParanaguáと標高945mのCuritibaの平均温度から割出して見ると、標高192m毎に1°Cの差が出る事が分る。(Paranaguáの年平均温度21.1°C Curitibaの年平均温度16.2°C)

※ Curitiba市はブラジル各州都府年平均温度の最も低い町であり、Palmas市は、パラナ州まで年平均温度15.2°Cで最も寒い所で冬期は雪が降る事もある。

Jacarezinho市はサンパウロ州Ourinhosの隣になるが、パラナ州中で最も暑い所で39.2°Cを記録している。因みに北パラナのマウワ地区の気象統計表をみると表4の通りである。

### パラナ州の地域分類

パラナ州は東から西へかけて階段形になっているので、各地の特徴を挙げ、分類すれば

#### 第一地域

海岸地域とも呼び、大西洋から西へ走り、海岸山脈までの地域を指す。

#### 第二地域

第一高原又はクリチース高原とも呼ばれ平均標高900メートル前後である。

#### 第三地域

第二高原又はCampos Gerais高原とも呼ばれる地域で、三つの地質に分かれている。デヴォン期(シリヤ)期と石炭期の中間)に属する地層でSerrinha Almas, PURUNÁ等の急坂を持つ山脈があり標高は最高1,215メートルである。

#### 第四地域

第三高原に属する地域で、Esperança山脈急坂以西を言い、標高は1,399メートルが最高である。

第二、第三高原は北及び西に向って傾斜があり、肥沃土で、カフェ地帯を形成し、単にパラナ州だけでなくブラジル経済に重要性を示している。



地質学的に見てパラナ州で最も古い地域は海岸から海岸山脈及び第一高原（クリチーバ高原）で前カンブリアノ期に属する岩石の中に広範囲に亘って火崗岩層が入り込んでいるのが特徴である。第三地域即ち第二高原は古生物紀沈渣地層で、石炭オイルシールのある永成岩が特徴である。第四地域即ち第三高原は中生紀層に属し、玄武岩、輝線岩等の熔岩の流出が特徴である。（テラ・ロッシヤ地帯はこれに属する。）最も新しい地域は、沈没（沖積上運動が現在でも行なわれている。海岸地域の平野、クリチーバ盆地、及び Jcuacu と Iapo 両河沿の低地帯である。

#### 海岸及び山脈

パラナ州は全般的に見て山脈より平野の面積が広い。山脈と名付けられるものは海岸山脈（Serra do mar）とそれに付属するもの丈である（第一高原の頭部に当るもの）。その他は小さな山脈で、Serrinha, Furna, Esperanca, Apucarana その他で山脈と名付けられながらも、分水嶺又は峯平野の境界と呼ばれている。

バイヤ州南部からリオ・グランデ・ド・スール州まで伸びている海岸山脈はパラナ州では海岸地域と第一高原（クリチーバ高原）の分岐点となっているがこの山脈中には Leao Farinha Sela, 並に Gqaciosa の急坂を持つ小山脈や Marumbi, Prata O Órgao その他の比較的大きな山脈もあるがこれ等の山脈はその地方毎にいろいろな名称で呼ばれている。

パラナ州に於ける最高峰は Órgao 山脈中にある Iarana 山で 1,962 メートルある。（註 Órgao 山脈は Ibitiraquira と呼ばれている）。この山は Revista Brasileira de Geografia anon, No 1-1942 に初めて発表されたものでそれまでは Serra do mar（海岸山脈）中にある Marumi 山が最高峰（1,516 メートルの標高）であるとされていたものである。

パラナ山は Antônia と Timbu の中間に位する。

第一高原の境にある Bocaína, Ouro Fino, Canha, Santana はその他の小山脈と並んでいるが、第一、第二高原の境をなしている処には Serrinha, Almas, P Puruna, Furnas 等のデヴォン期に属する小山脈がある。北部には Tibagi, Cihzas, Laranjihha, Figueira その他の河川の分水嶺となっている同名の小山脈があり、西北部には Tibagi と Ivai の分水嶺となっている Arucarana 山脈がある。第二第三高原の間には Esperanca と呼ばれる急坂小山脈がサンタ・カタリーナ州とリオ・グランデ・ド・スール州を走っている。Gerais 山脈から分れて東北に向ッ

ているが幾つかの違った名で呼ばれている。

#### パラナ州各地帯の土質

##### 海岸地帯

豊饒なる砂質土で湿気を好む熱帯作物に適している。

##### 第一高原地帯

母岩 によって種種なる土質を示しているが、大別してこの地帯デヴオン期母岩を三つに分け

- ④ Massade (アルカリに富む肥沃地) = Campo Largo, Araucaria 方面
- ⑤ Salmorões (長石雲母等を基とした砂質肥沃土) = Castro, Piraido Sul 方面
- ⑥ Calcario (古灰質土壌) = Bocava do Sul, Rio Branco 方面

##### 第二高原

三種類に分類される

- ④ Serie Passa Dois (二畳紀層)  
Faxinal, Candido de Abreu, Prudento polis, Mallet, Uniao Da Vitoria オイルシール地帯
- ⑤ Solos do Glacial (永河期層)  
Ortigueira, Reserva, Imbituba Sao Toao notriunfo
- ⑥ Serie dos Campos Gerais (シリア期と石灰期の中間に位するデヴオン紀層, Tibagi, Ponia, Grossa, Palmeira。

##### 第三高原

Serie Sao Bento と呼ばれる中生紀層に属する地質で二地域に大別することが出来る。南部及び西南部地域と北部及び西北部地域で前者は酸性土壌の貧弱な化学構成の原野で現在でもこの地域には原始林なるものが残っているが大きな山はない。後者は通称カフェ地帯と呼ばれる地域で三種類の土壌がある純 Terra Roxa と砂質土壌の Terra Arenosa それにその中間に行く混合土壌である Terra Roxa Mista 又は Terra Roxa Misturada と呼ばれるのがそれである。Terra Roxa は玄武岩、輝緑岩を母岩としている筈がかつた赤土で酸化鉄、マンガンを含む肥沃土である。

- ① Terra Roxa は化学的に肥沃土であるが手入れ次第でその減退は早い。アサイ地

方にその姿を見る事が出来る。表土流失を防ぐ事が急務である。

- ② 砂質土壌は西北に向って伸びているが有機物によって支えられている。化学的には貧弱で粘土に乏しい。湿度と養分を保有する力が欠けている。

#### パラナ州に於ける河川

パラナ州内を流れている河川はパラナ盆地、と大西洋盆地に向って流れている。その80%は西に向って流れているが太古の地形によるもので、現在のパラナ州の地形が出来上る前地形は西に傾いていたものである。第二高原の海水沖積運動が西部にあった海とそれに注ぐ河川を同方向に決定づけたのである。

今日有名なRibeira河が出来たのは大西洋盆地最大の河でありながらその歴史は新しい。第一高原(クリチバ高原)から流れる雨水の侵蝕から始まり、Paranapiacaba山脈中の谷川を集め次第に大きくなりRibeira河となったものである。

#### パラナ河

パラナ河はブラジル第二の河川で兩岸の盆地はパラグアイ、ウルグアイを合せてParana盆地を構成している。目下発電所建設で有名なUrbupunga(サンパウロに源を発しているTiete河河口)からGuairaの港まで航行可能である。GuairaからSete Quedasの港があるので、Mendes港まで60Kメートルを鉄道で結んでいるが、今日では利用されていない。Mendesの港からは再び航行が可能で、航路は大西洋まで伸びている。

Guairaの町の目の前から始まるSete Quedasは全長僅か4Kmの間に大小18の滝があり第14番目の滝が最大でGuairaの名が付いている。第11番目にある滝は落差25メートルで三段に分かれている。

パラナ河の支流で主なる河川は次の通りである。

#### ① Parapanema河

河口からDiaboの滝まで航行可能。サンパウロ州と境をなしその支流としてItararé河があり東部を流れ、サンパウロ州と境をなしている。Itararé河は更にJagariaiva河が流れ込んでいる。(90Km) Cinza河はFurna山脈から流れを發し、南から北に流れ、300Kmの長さを持ち途中Cavalcanti滝がある。Tibagi河はParapanema河の支流の主たるものの一つで、Palmeira郡内に源を發し、全長500Km そのうち78Kmは航行可能である。(河口からロンドリーナ市近くのJatai do Sulまで) 此の河はダイヤモンドがあるので有名。

② Ivai河

Esperanga 山脈に源を発し、上流は Pato s河と呼ばれ、全長800Km、約140Kmが航行可能。(河口から Ferroの 上部まで) 途中Visconde Rio Branco滝(落差75m)があり、支流にCorumbatai, Antas, Alonzo その他の河川がある。

③ Piquiri河

Condoil山脈(Guarapuava郡内)に源を発し、Sete Quedas上流7Kmに河口を持ちその巾は140mあり、Nha Barbaraまで航行可能の清流である。又此の河口の近くにバンディランテ探検隊によって破壊された、エスパニア領時代の町“Ciudad Real del Guaira”の廃墟がある。支流の主なるものの中にOio-EreやCantu等の河がある。(註・エスパニア領Guaira 政庁の滅亡は1629年から1632年)

④ Iguaçu

土語で、大きな水と言ひ名付けられたIguaçuの河はSerra do mar(海岸山脈)近くに源を発し、(クリチーバ郡内)東から西へ流れ、ゆるやかな流れは第一高原から第二高原にデヴォン紀層の山間を縫い約1,320Kmの長さを持ちそのうち360Kmは航行可能。開目が山麓の方向であるのは斜面より河の歴史が古い事を物語っている。(Amazonas港からAlmeida港まで航行出来る。)支流の一つであるNegro河は又サンタ・カタリーナ州と境をなしている。支流の主なるものを挙げると、Vargem, Turvo, Potinga, Areia, Jordao, Gavernoso, Cobras, Adelaide, Tormenta, Andrade, Negro, Jangada, Irati, Chopimその他Cotegipe, Capanema, Santo Antonio等がある。河口近くになるとアルチエンテーナ共和国と境をなしている。

Iguaçu河は数多くの滝がある、Caiacanga, Funil, Vitoria, Dsoro, Caxiasそして通称Iguaçuの滝と呼んでいるSanta Mariaの大滝がある。Santa Mariaの滝は河口から22Kmの処にあり、落差69m、ブラジル側に属する滝の落口の河巾は1kmあり、出力馬力は300,000HP

IguaçuのSanta mariaの滝は河の侵蝕作用で出来たもので、河床は玄武岩である。(註 Parana河とIguaçu河は兩岸共に巾60km前後の南米に残された最後の豊庫と呼ばれる肥沃土である玄武岩を母岩とする有名なテラ・ロシヤ地帯であ

る)

Iguacu の滝即ち Santa Maria の滝はアルゼンチン側から見る滝よりも美しく見れることと滝壺まで行ける利点がある。

Ribeira河

Ribeirinha と Acungui の両河が合流して源を発し、西から東へ流れサンパウロに入る。Drado河が合流している。

Cubata河、海岸山脈から Guaratuba に流れる。

## 2. 社会条件

### 治安及び対人関係

治安については全般的にみておちついてるとみて良い。しかし、コーヒー園の大農場や市街地を遠く離れた所、又、下層現地人の多い地区、日雇人夫の多い地区等では夜間の一人歩きは幾分危険性がある。又この地区では空巣等の「コソドロ」が一番多い、時に雇用人夫等と賃金の事で口論する事もあるが大きな傷害事件になる事はあまりない。

既して当地の現地人は日系人に対しては親切であり、市街地近郊、特に日系人の多い地区では対現地人との関係も複雑である。

パラグアイ、ボリビア国に比べ伯国の警察力はかなり強力で治安維持につとめている。

対人特に日系人同志の関係については旧移住者と戦後の移住者にと若干考え方の相違から意見の対立をみる事がある。しかし、最近各地区に日本人会等が組織され、融和を計っている。

### 食生活

全般的にみて食生活は悪い。移住当初は生活に不馴れなため、淡白な日本食であるが滞伯年数の増加にともないブラジル食へと移行している。

一般に野菜類は自給しているため多くとっているが魚貝類、肉類は地区によってはその採取量は少ない。河川地区とか、その地方の中心都市に近い者は魚（川魚が多い）を食べる事もある。鮮魚を求める事は殆んど不可能で保存のきく塩魚（塩タラ）が多くとられている。しかし、南パラナ地区はパラナグワ港に近いため北パラナに比べ魚の供給率は高い。

肉類については豚肉が一番多く、塩付けして保存し、長期の動物蛋白質の供給源である。牛肉についてはあまり供給していない。鶏肉は自家用として飼っているもののみであり、購入してまで鶏肉は食していない。全般的にみて自家用としての鶏は少ない。又邦人の食

生活は炭水化物が多く蛋白質のせつ取量が不足している。これからして出来るだけ現地食に切り替えるよう指導の必要がある。

#### (参考) 初期に於けるパラナ州の自然食料

パラナ州海岸地帯の地理的位置と気候は初期の住民達に魚貝類塩その他の必要な海産物を供給し、又森林地帯は自然の果物、椰子の髓、その他の植物を与え、それは今日まで続いている。

第一高原地帯は僅かにパラナ松の実が自然食料となっているだけで、食料になる植物に乏しい。しかも松の実冬期の初期(5月～6月)頃しか生産されない。それでも松の実狩人達の貴重なる食料であり、又松の実の時期はそれを求めて集まる猿、川豚、豚ネズミ、野豚、猪、その他があるので狩猟の季節でもあった。原住民達は松の実の粉を魚貝類の粉とともに食料として蓄えたもので、海岸地帯の処処に残っている貝塚はその名残りであり又考古学上貴重な資料でもある。

#### 住 宅

全般に粗末、簡単な天井なしの木造家屋が多く、レンガ造りは少ない。概して現地人の家屋に似ている。木造家屋の場合、屋根はカワラぶきで板壁の家も多いが、極端な家屋になると欄壁程度のもので一時的な雨梅雨をしのげる様な建築もある。勿論、これら家屋は入植当初とか呉地等に入植した者に多く、経済的な余裕が出来る事により、次第に本建築又は現地並の家屋を作っている。

独立農の場合は概して家屋も良く定着性の低い雇用農、借地農、分益農の家屋は一般に悪い。しかし雇用農の場合は雇用主が、借地、分益農の場合は地主の家屋付の場合がありそれら移住者の家屋は点在している移住者に比べると良い。

又、都市出身者等日本に於いてかなりの生活をしてきた者の家は和洋折衷であるが、かなり立派な家を建てている。戦前移住者は独立者が多いため本建築であるが約10年経過した邦人でも粗末な家の場合がある。又、その地方の中心都市に近い所に住んでいるものは家屋も良い。電灯のある所は少なく殆んどランプ生活である。

#### 保 健 衛 生

風土病は殆んどない。気候は全般的にみて良好と云えよう。地区によっては霜及び雪も降る所もあり、邦人には最も適した健康地区と云える。

都市近郊は特に保健衛生面は良いが都市よりの遠隔地、即ち奥地は充分とは云えない。病院関係をみると表10の通りであるが奥地の場合診療施設は少ない。又少し辺地に入ると医者も少なく薬店もないため急病等の場合は非常に危険である。主な都市には日系の医師がいる。今回の調査で聴取したところによると移住後大病をして苦勞した例は少なかった。唯、移住当初の精神的疲勞及び農作業による疲勞等から胃腸疾患の者が多く、又軽い肝臓病になった者もいた。更に軽いアメーバ赤痢に患った者も多い。

これは前述の如く過勞から来るものが多いが飲用水との関係のみのがせない。飲用水は井戸が一番多いが水質は良い。しかし、地区によっては河川水及び天水利用者もあり保健衛生から見るとあながち良好とは云えない。

現在風土病がないから河川水、天水等でも充分と云えるが風土病の発生した場合は危険性がある。いずれにしても河川水の利用は出来るだけさけるべく指導している。全般的にみて南パラナよりも北パラナ地方が保健衛生面ではおくられている感がある。

### 3. 主 産 物

ここ数年にしてパラナ州の農業はサンパウロ州をしのいで来たと云われている。

南パラナは州都クリチーバ市（47万人推定）を中心としてポンタグロッサ、カストロ地区はパタタの一大生産地で全ブラジルパタタ生産量の6割をこの南パラナで生産されていると云われている。

このパタタ作りは邦人が現地人の土地を契約借地をして耕作しているものであり、2作位耕作して他の土地に移転している。パタタ耕作後は地主が牧場として利用している。

従って現時点においては戦後移住者には調査結果でみられる如く牧場経営者は殆んどなく戦前移住者で数家族の牧場経営者が点在している。

また、クリチーバ市近郊は野菜類の生産及び消費地区でもある。これら野菜作りの移住者は戦後移住者が多く既に土地を購入し独立しているものもあるが借地及び分益農、雇用農もいる。このクリチーバ市近郊は最近とみにサンパウロ州より日系人の転住者が急増して来つつあり、従って邦人の活躍の舞台となって来ている。1964年サンパウロ州と南パラナを結ぶBR2幹線道路の開通により一躍南パラナの農業が脚光をおびて来つつある事は云う迄もない。

北パラナはロンド・リーナ市（推定15万人）マリంగా市（推定6.5万人）を中心としてコーヒーを主産物とし、果樹（柑橘、ブドウ）野菜類、棉、ハツカ等多種にわたりパラナ州

農業の中心地である。

またマリンガ市を中心に更に奥地（西部）にわたり、邦人の入植は近年急増しコーヒーは現地人が歴史も古くかなりの面積をしめているが邦人のコーヒー栽培の進出も多く邦人のコーヒー栽培地帯も各所にみられる。

この地区、パラナバイー、ピアビルウ、ウマラマ等には日系人があらゆる産業部門で活躍している。因みにパラナ州の主農産物についてその耕作面積と生産高及び、家畜頭数、山林生産物をみると表12-16の通りである。

又パラナ州における作物の生産費を試算してみると表17の通りである。



## パラナ州在住移住者の概況

### I 地域別概況

パラナ州を概況的に知る場合色々な区分の方法があると思われるが今回の調査では次の如く大きく6つの地区に分けた。それぞれその地区の概況を述べて次の如くである。又、その中心都市の日系人口、生産物教育文化等を調べてみると表11の地域別概況表のとおりである。

北部 (旧コーヒー生産地帯)	カンバラ・アサイ・ウライ方面
北部 (新　　　　　)	ロンドリーナ・マリンガ・シアノルテ方面
西部	ウマラマ・日光植民地方面
北西部	パラナバイ・ロンドレアンダ方面
南西部	トレード方面
南東部	カストロ・ボンタグロッサ・クリチーバ方面

#### 1. カンバラ～アサイに至る旧コーヒー生産地帯

##### (1) カンバラ地区

サンパウロ州の境界線近くにあるカンバラは以前南米銀行所有のブーグレ耕地があり兩伯雇用移住として相当数入植し一時日本人入植地帯として有名であったが南米銀行がこの地を伯人に売り渡したために次々に退耕するものが増え、現在カンバラに入植している戦後移住者の大部分はブーグレよりの転耕者で占め、あとはサンパウロ州よりの転住者である。又本地区には沖縄出身者の集団入植地がある。カンバラ一帯は昔コーヒー地帯であったが低地であるため霜害の恐れが多分に考えられるので近年は雑作地帯が増えつつある。この附近の雑作はトモロコシを主とした分益農が多い。

##### (2) バンディランテ地区

カンバラより約35kmのバンディランテ近郊には戦後移住者(農業者)は極めて少く、市街地より1～5kmの地帯で野菜栽培を行なっている。渡伯後10年を経たもの1件しか調査出来なかった。この反面市街地に於いて商業あるいは技術者として工場に就労している戦後移住者は若干数いた。2～3年前は本地区にも戦後農業移住者が相当数入植し、又技術移住者も住んでいたが皆サンパウロ州のセントラル線方面やウジミナス製鉄所に移って行ったということである。

ハンディランテより約15kmの地点に厚生植民地と謂う日系人の入植地があるが、本植民地の戦後移住者は養鶏のコロノをしている2件をとらえたにすぎなかった。この地帯は養鶏が盛んになってきて居り新しく鶏舎を選んでいる家があったが全部戦前の移住者であった。サンタアメリカの野村農場には戦後移住者は計6人で、内1人は技術移住者で、これを除く5人はコーヒー精選工場の監督が1人、養鶏2人、ブドウ栽培の指導者1人及びブドウの分益者が1人というふうに従事しており、ブドウの分益者を除いて他は雇用である。野村農場は会社組織であるので原則としては借地分益形態はない。

同農場では今後ブドウ栽培植林、牧畜方面に力を入れていくようである。

ハンディランテより18kmの地点にあるサンタマリアーナには戦前移住者がしっかりと基盤を築いているが戦後移住者で農業に従事しているものは少なく4件のみで、内3件を調査した。本地区はコーヒー栽培が主である。

コルネリオプロコピオでは市街地で商業を営んで居るもの、コチャ産組に勤務しているものその他農業者は見当らなかつた。

(3) アサイ・ウライ・ジャタイ

ブラ拓が30年前土地を分譲して開いたトレスパラス移住地(現アサイ郡)は現在郡内に1,300家族の日系農家が居り、市街地には240家族が居住して居る。同市の商店の大半は日系人で占められて居る。

以前はコーヒー栽培が中心であったが、度重なる霜害にあり、抜木して棉作に切替えたものが多いが、数年来の天候異変で不作が続いて居り、棉作者にとって大きな頭痛の種となって居る。

戦後移住者で農業に従事しているものは60件近くあったが内55件を調査した。最も多いのは分益農で27件である。棉作の分益農が大部分であるが前述した通りの不作続きで人件費、農薬、トラトル借上料等の急激な値上りが加わり、利益が薄くなってきている。

又、棉作の分益農の所有する農機具は棉作の他には使用出来ないものが多いため止むなく続けているものが多い。又本作物は他に比べ農薬を多く使用するため農薬による人体障害を常に心配していなければならず現に中毒のため2~3ヶ月も治療を行ない未だ全快しない例もあった。

一般的にみてコーヒーに於いてはすでに増盛期が過ぎた感があり、コーヒー一本の當農では不安定であるので畜産、果樹等を取入れた多角的當農に移行しつつある。ブドウ

栽培、養鶏方面に力を入れ始めた移住者も多いが、その市場性をよく研究する必要があると思われる。

ウライはラミー生産で世界的に有名なところで、戦前移住者が多く確固たる地盤を築いてある。コーヒー・ラミー棉が主作物で、戦後移住者に於いて調査対象になったのは20件で内8件が独立していた。

サンジェロニモダ・セーラ、サンタセシヤでは戦後移住者で農業に従事しているものは少なく調査出来たのは4件のみであった。これらの主作物は、棉、コーヒー、ミーリヨ、フェジョンである。又、サンタセシヤは、土地が悪い上に風が強く毎年のように降霜があり、且つ市内にコーヒー、精選工場その他の工場がないため将来の発展性はあまり望めないと思う。

又、アサイより東部サンフランシスコ河近くのサントアントニオ・ド・パリー、コンゴイニャス河近くコンゴイニャス市より30 Kmの地点に日系人の集団地がある。サントアントニオ・ド・パリーはコーヒー地帯であり戦前移住者の大農場主が居るが戦後移住者は少ない。コンゴイニャス河近くの日系人集団地では連合日本人会を設立して居り、戦前戦後合せ約70家族が居住している土地は砂質で耕作物は米を主とした雑作地帯である。戦後移住者は12~3件で借地農が多い。

コルネリオ・プロコセオ地方に位置するセハタネージには120家族の日系人がマモナ、棉、コーヒー、ミーリヨ等の栽培に従事している。ミーリヨの生産が最も多く市場はサンパウロ市である。本地区の入植者は戦前戦後移住者共転耕するものが少なく、ここ20年間大した移動が行なわれていない雑作者の常としての移動がないところをみるとそれだけ土地が良いといえるのではないかと思う。

#### (4) 東部カルロポリス・ヴェンセスロウプラス方面

カルロポリスは、野菜、養鶏を中心とし、約115家族の日系人が居る。そのうち調査した戦後移住者は29件、うち10件が独立しており、7件が借地、12件が雇用農である。雇用農の大半がコチア青年である。

ジヨアキンタポラは人口3,000家族を数える街であるが、日系人家族は30家族。作物は雑作が主となっている。又ここは玉ねぎ、馬鈴薯の適作地でもある。地質はあまり良くないが将来は養豚、果樹栽培の方向をだるものと思われる。ここへの入植者はカルロポリス方面より移入してきたものが多く、コチア青年のみである。調査したのは2件のみ。

ヴェンセスロウ・プラスには日系人家族69, 産物はコーヒー・馬鈴薯, 野菜それに養鶏である。コーヒー栽培としては余り見しは良くない。野菜栽培中心で進むものと思われる。調査件数は8件, 独立は4件雇用農4件である。

## 2. ロンドリーナ, マリンガ, シアムルテにのびる新コーヒー生産地帯

### (1) ロンドリーナを中心とする一帯

ロンドリーナは現在人口15万人を数える北パラナの商工業の中心都市である。このロンドリーナ市街地近くに入植している戦後移住者はほとんど野菜作りである。調査した10件のうち1件が独立農, 5件が借地, 分益が2件, 雇用農2件と独立農は少ない。一大消費地をひかえているので有望であるが, この近郊は地価アルケール3,000,000~4,000,000クルゼイロスもし, 資力の乏しい戦後移住者では独立は難しい。勢い借地にならざるを得ない。ロンドリーナ市近郊の野菜の一戸当りの粗収入は年間2,172,000クルゼイロスで他の都市近郊の野菜作りに比べて少し低い。

#### パリアーノ入植地

パリアーノでは野菜, ブドウ栽培が行なわれており, 調査件数5件のうち, 独立2件, 借地1件, 分益が2件である。

#### ロレーナ入植地

当地はカンベ郡管轄でロンドリーナより18kmの地点にある。戦後移住者が11家族入植しており, 10件が分益農である。雇用農はなし。独立農はコーヒー栽培。分益農もコーヒーと果樹, 野菜である。当地には長崎県出身の戦前移住者小笠原正雄氏の農場があり, 同県出身の戦後移住者が分益農として6家族入植していた。この附近は交通の便が良くなれば発展するところであるが, 独立する為の土地購入は地価が高すぎて困難である。

#### ガラペーラ

ロンドリーナより35kmの地点で雑作を中心として, あとラミー栽培, 養鶏をやっている。調査した戦後移住者は19件で7件が独立農, 9件が分益農であった。

借地1件, 雇用農1件

全般にロンドリーナ近郊のコーヒー地帯ではやはり霜害に対する不安からコーヒー木を抜根して果樹(ブドウ栽培が主)を植えているところが増え, コーヒー一本の営農はすぎざり, 多角化に向いつつある。

(2) ローランジャ〜アブカラナを結ぶ一帯

この一帯は分益農が圧倒的に多い。調査した53件のうち35件70%が分益農であり、コーヒーと野菜栽培である。

ローランジャには共栄植民地、アラポンガスにはエスペランサ植民地、アブカラナは昔の大和植民地と日系の集団地がある。

ローランジャの共栄植民地の戦後移住者は分益農が多く、調査した12件は全て分益農であった。当地は電気、水道が完備している。

アラポンガスのエスペランサ植民地は作物は、コーヒー、こども、電気、水道は完備している。24件のうち14件が分益農で6件が雇用農、独立農は3件のみである。

アブカラナは日系人が300家族居住している。管内の人口は95,000人、標高はこの辺一帯では一番高く1,000m。とうもろこしの売上の50%（世界の）はここでなされる。ここで調査した17件のうちやはりコーヒーの分益農が多く9件、次に独立の5件で、借地雇用農がおのおの2件、1件。独立のうち2件はパトロンの娘と結婚し独立。いずれもコチア青年である。

このローランジャ〜アブカラナ一帯はコーヒー地帯では最も樹勢も強く、又、単位当りの収穫量も良い。しかしこの近辺の土地の平均地価は3,000,000クルゼイロスで土地を購入し、コーヒー栽培するには相当の資金を要する。又アブカラナでは特に売人のない限り新しく入植する余地は無いようである。

マウア植民地

アブカラナより以南60Kmの地点にあるマウア植民地即ち、フジ、ツピヤタン、ノーボ、オリエンテ、サンジョゼに戦前戦後を合わせて110家族の移住者が入植している。主にバクタと雑作である。

この植民地はここ2〜3年連続の不作で多くの農家は借財を持ち、どのように営農してよいか悩んでいる。又15家族以上の農業者が破産して退耕してしまった。

戦後移住者は最初分益農で入植したものが多かったが、雑作なので不況の為に独立は困難だが、次第に目鼻をつけて安い附近の土地を求めてゆきつつある。土地が悪いので将来の見通しは思わしくないが、永年作物及び養豚などで落着けば現在のところ土地が安いので独立は可能である。然し単位面積当りの収益は余り望めない。舗装されたので交通の便は良い。

(3) マリンガを中心とする一帯

マリンガ市は現在急速に発展し、その商工農面における役割はロンドリーナに次ぐ重鎮としての風格を備えつつある。現在管内の人口12万人、銀行22、コーヒー精選工場が77、市制がひかれて18年目の街である。

戦後移住者の生活も10年もたつと安定して来ているが、現在なお分益作者は余り良くない生活を続けている。マリンガ市近郊では野菜作り、コーヒー栽培がほとんどである。又調査件数25件のうち8件が独立農、8件が借地農、分益農4件、雇用農5件である。マリンガ市近郊の野菜栽培者の1戸当の平均粗収入は年間3,945,000クルゼイロスで他の野菜栽培地域に比べて良い。しかしこれは独立及び借地農の平均数値であり分益農の状態はまだ良くない。

マリアルバ・マンダグアリ

マンダグアリには戦後移住者はコーヒー栽培の独立農2件のみであった。

マリアルバの10件は9件がコーヒーの分益農であり、1件は独立農であった。

サンジョージ

マリンガ市の以西、50Kmの地点にある。当地区には戦後移住者が15件、その8件が分益農、4件が雇用農、1件が借地農で独立農はわずか2件であった。いずれもコーヒーが主作物。

フロレスタ

調査した5件はいずれもコーヒーの分益農で、渡伯後6年以上になるものばかりである。いずれも収益状態は悪く、生活費を差引きあとには残らない。

全般にロンドリーナ、マリンガ市を結ぶ一帯は分益農が多く、戦後移住者の50%を占めている。又、雇用農が以外と少い。ここ一帯は有数のコーヒー地帯であるが、現在コーヒーの植えられるテラ・ロッシヤ地帯は原始林といえども1,000,000クルゼイロスからし、ロンドリーナ、マリンガ市間の既に開拓された土地ではアルケール2,000,000~2,500,000クルゼイロスもするというのでは5アルケールの最小面積を獲得するにも5,000,000~10,000,000クルゼイロス の資本が必要であり、この多額の金額はなかなか産み出し得るものではない。又、コーヒーには10年に一度の大霜があり、最近では降霜が続いており、一度この天災を受けると2年間は完全な窮乏生活に追いこまれた上、収益は全然ないことになる。又間作についても、生活費を幾分安くする自給程度のもので、別に余作地でも得ないかぎり、この面からの収益は期待出来

ない。日系パトロンはいずれも10アルケール程度のシチアンテであって、自分の子供達の将来のことにすら苦慮している現在、余作地を貸し、さらには独立援助までは言葉の上ではいえても実際は不可能である。分益コーヒーの分益作者もコーヒー栽培の独立農にこだわらずに資金が出来れば適地、適作主義で独立していくのが良策と思われる。一般にコーヒー地帯に入植している者は、コーヒー栽培にこだわる傾向がある。

#### (4) ジュサラ〜シアノルテにのびる一帯

##### ジュサラ

マリンガ市から西へ7.5km、イバイ川を越えた地点にジュサラがある。ここには日系入植者が45家族、戦後移住者は3家族で、独立分益、雇用農それぞれ1件であった。

このジュサラの街はメリヨール土地会社が都市計画のもとに売り出したのであるが、やはり同会社が売り出したシアノルテ市にその中心をもっていかれた感がある。

主作物はコーヒー、綿、マモーナ、とうもろこし、大豆で、大豆は有望視されている。低地のコーヒー地帯は次第に綿作地帯に転向しつつある。

##### シアノルテとその近郊

ジュサラより西18kmにあるシアノルテはマリンガ、シアノルテ、ウマラマと新コーヒー生産地帯を結ぶ重要な都市である。コーヒー精選工場13、精米所10、製綿所2、飲料水工場2、製材所10をようし、その将来の発展は期待されている。主作物はコーヒー、野菜、落花生であるが霜害がある。

管内の日系家族は170家族で戦後移住した農業者は8件（うち単身1）で、コーヒー栽培が4件、野菜作りが2件、落花生が2件（うち単身1）である。独立しているのはいずれもコーヒー栽培の2件である。独立の1件は養子。

##### クルセイロ・ド・オエステとその近郊

やはりマリンガ、ウマラマを結ぶ新コーヒー生産地帯に位置するクルセイロ・ド・オエステはシアノルテより60kmの地点にあり、管内の日系人約180家族で戦後移住者は約10家族あり、農業従事者は5件であった。いずれも単独移住者である。2件が独立、1件が分益農であり、独立のうち1件は養子である。主作物もコーヒー、米、綿、フェジョン、落花生である。土質はこの近辺平均して良く肥沃であり将来生産物はコーヒーが主牧畜、その他の作物も向上して行くと思われ、鉄道も敷設される予定でもあるので、将来の見通しは明るい。

### 浩栄植民地

クルゼイロ・ド・オエステ管内で東へ18Km, シアノルテより50Kmの地点に浩栄植民地と呼ばれる沖繩県人の集団入植地がある。戦後入植者は9件でいずれも独立農で主作物はコーヒー、棉、とうもろこし、フェジヨンの雑作である。しかしコーヒーの収穫はまだなく棉が主である。

浩栄植民地近くに未だ入植可能な土地がある。不在地主が多いので20家族位入植可能。コーヒー、棉、雑作の他は余り望めないが、コーヒーを主体にした営農の場合、将来降雨の率が割り合い少いので楽観的な見通しがつく。

全般にウマラマよりクルゼイロ・ド・オエステ・シアノルテ、ジュサラよりマリンガに至る主要道路沿線は今後のコーヒー地帯として、重要視されて良い。ウマラマ、シアノルテ、マリンガの主要都市の発展が良くそれを物語っている。しかし資力の乏しい戦後移住者はコーヒー作にこだわらず適地適作主義でいくべきと思われる。

### 3. 西部、グアイラ、ウマラマを中心とする一帯

#### (1) グアイラ

グアイラ方面は戦前移住者は割合少なく、ほとんどが戦後移住者とブラジル人の入植者である。未だ入植年数も浅いがほとんどが独立農であり3~10アルケールの土地所有者が多い。借地、分益、雇用農は少ない。主作物は雑作(米、フェジヨン、ミーリオ、棉、大豆)、それに特殊産物として薄荷香料原料栽培が行なわれている。又将来の営農方式も養豚を取り入れた有畜農業に進みつつある。コーヒーの栽培は不可能に近い。営農面では雑作の場合運搬費が高く不経済である。グアイラよりイボラン、ウマラマを結ぶ街道は降雨の場合交通が途絶し、交通状況は悪い。道路の整備が急望されている。

全般的に生活は安定しており、第一線で開拓農を営むものも、スオス・ド・イグアスーにぬける道路の改装で将来に希望を持って張切っている。この土地は非常に肥沃でありコーヒー栽培には霜害により不適地にしても、その他の穀物は十分期待出来る。このパラナの奥地も道路の舗装、鉄道の敷設が急がれば今後大いに期待出来る。

#### (2) ウマラマ〜ドラシーナを結ぶ一帯

ウマラマはここ急速に発展した街である。日系人も市街地及び近郊を合わせて約160家族居住している。戦後移住者で農業を営んでいるものは極めて少なく5件であったが、市街地でガソリススタンド勤務、修理工、ホテル業、野菜の小売りをしているものは



11件を数えた。農業者は独立農3件分益農2件で、独立農の主作物はコーヒー、野菜であった。このウマラマ市街地近郊の地価はアルゲール4,000,000クルゼイロスという高いもので、街の発展度に比例して急激に上昇している。

ウマラマより北へドラジーナまでグレーバ、フィゲラ、日光植民地、コロニア、インド、イバイと日本人の集団入植地がある。このドラジーナにぬける道路は非常に悪く1日雨が降ると3日間はバスの運行がストップするという交通不便なところである。

ウマラマより約20Kmにあるグレーバフィゲラ地区は全入植者が高知県の集団移住者であり、いずれも戦後移住者で独立している。主作物はコーヒーで、ここでは日光植民地のように霜害があまり無い。ウマラマより日光植民地迄の線はコーヒーの樹勢は良いが、日光植民地に入るとイバイ川の関係で降霜がある。グレーバフィゲラの入植者は一応安定している。入植者9家族。

日光植民地は、ウマラマより約40Kmの地点にある。戦後移住者の集団入植地である。現在は戦前移住者も含めて37家族である。全て独立農。当地はコーヒー栽培を主としているが、未だ収穫期には入っておらず、落花生、ミーリョ、米などの雑作を行なっている。又この土質は入植地内でまちまちで相当悪い土地もあるようである。市街地迄遠く道路が整備されて居らず、出荷にも支障をきたすところでの5~10アルゲールの営農には、今後発展していくにも底が見えている。ここでは入植者同志が協力的でない。文化面での子弟の立ち遅れが懸念される。医療面では特に雨天の場合非常に不便など、故多くの問題をかかえているように思われる。

コロニア、インド、イバイ地区は戦後移住者は少なく4件のみ。コーヒー雑作地帯。

#### 4. 北西部 パラナバイを中心とする地帯

パラナ州マリంగా市以西の西北部における戦後移住者は少ない関係もあるが、現段階では雇用、分益農の域を出ていないと云える。現在独立している家族は都市近郊（パラナバイ）における野菜栽培者が小面積にて砂質土の悪条件と戦いながら営農に努力している。コーヒー栽培で独立しているものは42件中6件であり、殆んどが分益者で28件である。独立を早く達成するのではないかと思われるのがコーヒーのホルマ謂負であろう。1965年度は豊作であったが2~3年このような豊作が続くと独立資金が残る予算であるが、霜害など天候に左右されるので、そうはいかない。この地帯の平均温度は18°C前後、地質は砂土の赤地酸性である。又砂質土に栽培された当地方のコーヒー園は除々ではあるが

パスト化されてきている。。

## 5. 南西部 トレード、ウピラタン、ソパンジー方面

### (1) ウピラタン

開拓10年を迎えるこの地帯は日系60家族中約20家族の戦後移住者が入植しており、雑作を中心として立ちつつある。コーヒーは気候的に危険視されている。将来は飼料自給の養豚が行なわれようとしているが有望と思われる。入植者のほとんどが土地を購入して完全に定住しようとして心構えている。又当地は薄荷栽培の最盛期であるが、将来の転換を予期して牧畜に目をつけ土地を購入していることに注目しなければならない。ウピラタンで戦後移住者で独立しているものは8件、借地農5件、分益農4件、雇用農2件である。

### (2) カスカベル

20家族の日系入植者中、5家族の戦後移住者がいる。この街は農業面での歴史は浅い。地味は極めて不良である為、農業者の入植がなかった。しかし当地が将来西部パラナにおける作物の一大集散地になる可能性を増しつつあり、商業面での日系の進出に期待がもたれている。現在の農業者の営農状態は余り良好でない。これは入植まもないとはいえ、名人が短期消費作物栽培のみに傾注している向きがあり、もっと長期にわたる営農計画が立てられる必要がある。

### (3) トレード・ツパンジー

この地帯に約40家族の戦後移住者がいる。入植者の殆んどが土地を購入し独立農の状態にある。定住の意気に燃えた拓殖たくましい地帯であるが、営農計画に確固たる基礎がない。一部では飼料自給の養豚をウピラタン同様に開始しているが一応有望視されている。しかし問題は畜産を主とする南部、リオ・グランデ・ド・スール地方からの移入者が浸透しつつあり、これに呼応して立ち遅れぬようせねばならないことである。現在この地帯の入植者にとって必要なものは確感ある指導者を得ることである。主作物は薄荷、コーヒー、野菜、雑作である。現在地帯はアルケール当り300,000〜400,000クルセイロスであり、他の地方に比べて安い。

## 6. 南東部 カストロ、ボンタグロッサ、クリチーバ近郊

カストロ、ピライド、スール、ボンタグロッサ方面におけるバタタ耕作者約100家族

であって、そのうち戦後移住者は約60家族、ほとんどがコチア単独青年である。当地方におけるバタタ栽培は1958年コチア産業組合が気候が適しているという点から種芋栽培の為にカストロに8家族を導入したことから始まった。バタタの種芋自体それ程成功を納めなかった。しかし機械化大農経営が可能であり収量も品質も良く、価格の高騰も加わって、南サンパウロのイタチーバ方面よりバタタ耕作者が移入し、一時的にはいわゆるカストロブームが起り、ボンタグロッサ、ピライドスール、イバイチ方面にのびていったものである。バタタ景気もしばらくは続いたが、1965年8月の安価から苦境に陥ったものが多く、この教訓から最近、土地を購入し、牧畜、養豚さらにはオリーブ、パラナ松、梨等の導入が盛んで多角的経営に向っている。この地帯の戦後移住者約60家族のうち独立農は14件であった。

クリチーバ近郊で日系人が入植している地域はアラウカリア、コンテンダ、カンピーナ、グランデ、グラシオーザ、クアトロパラス、タトウクァーラ、サンジョゼドス、ピニャイスである。

このクリチーバ一帯にはここ2〜3年サンパウロよりの転耕者が増えつつあり、一大日系集積地となりつつある。

クリチーバ市街地近くで野菜作りをしているもの7件を調査したが、この他にも入植しているもようである。7件のうち5件が借地、独立が1件、雇用農が1件であった。アラウカリアは養鶏が主で相当大規模に行なっている。バタタ栽培は種芋が主であるが、ブドウ栽培も少々行なわれている。ここはポーランド人が大半を占め入植の歴史は約10年である。殆んどが自給生活に近い状態で、牛、豚、ニワトリなどを飼い生活は豊かで落ち着いている。日系入植者も大いに参考にすべきではないかと思う。戦後移住者は独立2件、借地4件、雇用農4件、分益農1件の11件であった。コンテンダ(アラウカリアより20km)でも人口の90%までがポーランド人で占められ、日系人入植者は戦前戦後共少く、9家族である。戦後移住者の3件は現在共同経営に乗り出しバタタの種芋栽培を始めている。この土質は非常に良い。サンジョゼドス、ピニャイスの11件はバタタと野菜(主にトマト)作りで独立農3件、借地農7件雇用農1件であった。カンピーナグランデは養鶏が盛んで同時に野菜を併作している。独立農が3件、借地農が3件であった。

グラシオーザでもやはり養鶏、野菜が主であり、調査した4件とも独立農であった。クリチーバ及びその近郊では独立と借地農が多く、分益農はわずか1件のみであった。

全般にクリチーバ近郊は道路網が完備し、農業者は非常に恵まれている点あげられる。

出荷の運搬は雨期の際でも心配はない。しかし、その反面土質が悪く傾斜地である。又野菜作りで成功しているのは戦前移住者よりも戦後移住者で、特に沖縄出身者であることがあげられる。

## II 都道府県別移住者数

今回の調査件数は家族587件、単身118件、合計705件であり、表18の如く、3,307人の戦後移住者がいることがわかった。

この内、家族では九州出身のものが最も多く211件（全体の36%）次いで、東北の80件（13%強）であった。これに反し、近畿地区出身者は非常に少くわずか28件にすぎない。

単身では関東の26件（22%）が最も多く、次いで九州の21件（17%）であった。府県別にみると長崎県が圧倒的に多く71件（12%強）次いで熊本、福岡、高知、福岡県が続いている。長崎、福岡両県の移住者が多いのは炭鉱離職者の移住者であり、高知県の場合も吾川郡伊野町からの集団移住者である。

沖縄の32件は殆んど近親呼寄せ移住者が多かった。

本件調査に当り、奥地に点在している者、及び、移動の激しい移住者等調査もれのもの、本調査件数の10%強の70件（60家族単身10人）あるものと推定している。

## III 州別年次別入植者数

現在パラナ州で農業を営んでいる移住者の年次別州別の着伯をみると、表19、図1のとおりである。

移住当初よりパラナ州に入植したものは477件（全体の67%）サンパウロ州に入植し、その後パラナ州に転住して来たものは204件（29%弱）その他4%であった。また、家族移住者では410件のうち、パラナ州に入植したものが306件でサンパウロ州の81件に比べ圧倒的である。単身移住者ではパラナ州の171件に比べサンパウロ州へは123件でこれよりみると家族移住者に比べ単身移住者のサンパウロ州よりの転住者が多い事がわかる。

更に、家族、単身移住者とも着伯当初の農家型態は雇用農が最も多く、特に単身移住者の95%が雇用農として入植している事が注目される。着伯年次別では、1958年及び1960年が最も多く、1963年にはわずか19件と急減している。

全般的にみて家族移住者はパラナ州に直接入植した者が多く、単身の場合は123人サンパウロ州より転住して来ているのを注目すべきである。

#### IV 耕作状況

##### 1. 単身青年移住者（現在単身）の耕作面積と作物

独立者17件のうち、パタタ作りが6件の35%強。又、借地者の25件のうち、6件がパタタ作りである。これら移住者は南パラナのパタタの中心地であるカストロ、ポンタグロッサ地区に入植しているものである。

耕作面積では2.0アルケールまでのものが8件で47%、借地の場合2.0アルケールまでが14件で56%を占め、うち6件がトマト作りである。

##### 2. 単身青年移住者で現在妻帯者の耕作物と耕作面積

独立農は64件であり、その耕作面積は2.1～5.0アルケールのものが最も多く31件で全体の48%、次いで5.1～10.0アルケールの11件である。

耕作物ではコーヒーが多く16件、次いでパタタ13件、そ菜の8件のうち、5件は1.0アルケール未満のものであった。

借地農については39件のうち、10.0アルケール以上11件、その7件がパタタ作りである。

##### 3. 独立農の作物と耕作面積

耕作面積で最も多いのは3.1～5.0アルケールの68件で全体の26%強で次いで1.1～2.0アルケールの43件、7.1～10.0アルケールの42件である。

5.0アルケール未満のものは164件で全体の64%を占めている。

作物で最も多いのはコーヒー、コーヒー雑作、コーヒー果樹等、コーヒーを主として経営しているものが81件で全体の31%、面積では552.5アルケールを占め全体の26%である。次に多いのは50件の雑作、面積からみると381アルケールで18%弱、野菜が44件で17.3%、面積は少なく92.5アルケールでわずか4.3%にすぎない。

野菜では2.0アルケール未満のものが28件で64%の大きな数字を示している。

最近邦人間で盛んになって来ているハツカ栽培は戦後移住者では9件にすぎず全件数の3.5%であるが面積からみると543.5アルケールで全体の25.5%を占めている。

棉は25件で10.0%面積では189.5アルケールの8.9%で意外と少なかった。

#### 4. 借地農の作物別耕作面積

バタタ作りの30件は件数からみると全体の24%であるが、耕作面積からみると45%弱を占めている。そ菜栽培では45件の36%弱で耕作面積ではわずかに60.5アルケールで全体の8.7%にしかない。

全体では5アルケール未満が96件で全体の76%を占め3.1~5.0アルケールの耕作面積が18件で最も多い。

### V 移 動 回 数

家族移住者410件、単身移住者295の場合も同じく移動回数は1~2回が最も多く、全体の61%強となっている。移動回数最高6回が1件あった。入植時より移動せず同地に現在定着しているもの家族移住者33件、単身移住者33件、計66件で9.4%である。移動していないものは独立農が11件、借地5件、分益20件、雇用農32件となっており、単身移住者の場合雇用農の移動回数が一番多い。これは単身移住者の年度別入植表からみて着伯まもないコチア青年などが含まれているからである。

#### 着伯時の農家型態と移動回数

家族移住で渡伯した410家族の着伯時の農家型態と現在の農家型態の関係は表41の通りである。

分益農として入植し現在も分益農として営農を続けているもの26件(その間地域の移動はある)雇用農が現在雇用農であるもの27件である。また分益農から雇用農に変わったものは1件のみである。

雇用農で渡伯し、分益農を営んでいるものは雇用農で来た300件のうち105件で35%を占めているが、これは雇用農一分益農一借地農、独立農と移っていくオーソドックスな型態からみて当然の数字と云えるが注目すべき事は雇用農から1回目の移動で独立農になったものが48件と15%を占め独立農全体では計121件の40%強となっており借地農が意外と少ないことである。

又、雇用農から独立農になり、一度他の農家型態に移ったものが8件であった。借地農をみると着伯時借地農として入植したものは14件と非常に少ないがそのうち11件が現在も借地農を営んでいる事がわかる。

全体からみると着伯時の農家型態で一度も他の農家型態に変っていないものは73件で18%弱、雇用農から分益、分益から独立など一度型態を変ったものは191件で46%強、一番多い。次に2度変ったものは113件で28%、3度変ったものは28件の6.8%、4度が6件の1.4%となっている。

又、現在独立農の174件のうち一番多いのが一度型態変更のもので78件の45%、2度変更のものは71件で41%となっている。現在分益農138件のうち86件は雇用農から移ったもので62%を占めている。雇用農のままのものは33件で他の267件はいずれも分益、借地、独立へと進んでいる。それと反対に着伯時の分益農が雇用農になったものは1件にすぎない。

単身移住者295件のうち現在妻帯者は177件であり、着伯時独立、借地、分益農として入植したものは12件（分益から独立した1件をのぞき）でいずれも着伯時の農家型態をとっている。

雇用農165件で雇用農を続けているもの19件、着伯後分益、借地、独立農等に一度変更し再び雇用農になったもの10件である。他の136件は独立農60件で44%が一番多く、次に分益40件30%、借地36件26%となっている。

又、現在単身のもの118件については妻帯者の場合とちがって雇用農として入植しその後も雇用農であるもの57件で49%であり、他の型態に移り雇用農に戻った7件を合わせると雇用農継続者55%の過半数を占めており対照的である。又、単身者では雇用農から借地農に変ったものが20件であり、家族移住者、単身移住妻帯者の例と対照的である。一般的には雇用農から独立になったものが一番多い。移動回数は1~2回が圧倒的に多く移動回数0即入植当時の農家型態のままのものが139件であり、その内113件が雇用農である。

## Ⅶ 子弟の伯国における就学現況

伯国に於ける教育制度は図2の通りである。この教育制度により各州とも実施しているものである。しかし、都市近郊と農村の教育の程度の差は大きく、特に奥地の学校は寺小屋式の教育である。又、教師の水準も低く、辺地の教育が都市近郊なみの水準になるには相当の年月を要しよう。今回調査した705件のうち妻帯者587件の子弟就学状況は表45のとおりである。小学校就学適令者260名（7~10才）のうち、未就学のは36名の16%である。

小学校欄の数字は小学校就学適令者（7～10才）で就学しているものと10才以上のもので小学校に通っているものを加えた数字である。独立農の場合、153名小学校就学者のうち、101名が就学適令者（7～10才）で、他の42名はそれ以上の年齢のもので小学校に通っているものである。

子弟の教育問題は移住者特に奥地に居住している移住者にとっては大きな問題であり、入植した地域によっては学校の設備、学校との遠近、宿舍の有無、教師の質の差が大きい事は云う迄もない。

奥地の場合は小学校（4年生）のみであり、中、高以上の学校はその地域の中心都市に下宿、又は宿舍等の設備のある学校に入学するより他に方法はない。更に小学校の場合、児童が通学に4～5km徒歩で通うのは普通であり、雨が降った場合など、又は交通の不便な地域では教師が学校に来ないか、生徒が登校しない時があり、十分な義務教育も出来ないのが実状である。又、1日の教育時間も日本の学校に比べ非常に短く、休日も多い。

中、高以上の学校に奥地より就学させる場合は前述の如く、設備等の事もあり、又その経費も高く余裕のある家庭でなければ子弟を上級学校に出せない。

### III 雇用農の賃金

雇用農の賃金は地域によって、又耕作物雇用主の経済状態によって差がある事は云う迄もないが調査の結果表46、47の通りである。

一般に食事付の場合は単独青年が多い。コチア青年は多くが組合の給与規定に準じているが個人差もみられるが現況からして非常に安い。食事付では20～30コントのものが多くがなかには10コント未満のものが7件あった。表からみるとパラナの雇用農はカストロ、ポンタグロッサに集中している感がある。次いでカルロスポリスに多くいずれもコチア青年が大半を占めている。

これら青年の中には雇用主の家族待遇と云うものがあり、これは固定給なしに本人の必要な時に応じて現金又は現物給与を行なっているものである。この家族待遇を受けている青年はカストロ、ポンタグロッサ地方のバタタ作りの雇用農（コチア青年）に多い。この制度は青年の独立時において雇用主との契約の件で問題化する事が多い。勿論、独立時に相当の援助をする事に本人と口答でもって話し合いが済んでいる場合が多いが殆どが契約終了間際に問題が生じている例が多い。例外としてその雇用主に農業の後継者がいないとか、雇用主の娘と結婚する場合もある。やはり、雇用主の援助で独立した例はカストロ、ポンタグロッサ



地方に多い。

しかし、バタ作りの場合、非常に投機的な営農であるため（価格の変動が激しい）資本の少ない雇用主又は、収入の少ない年、等に雇用契約終了し、雇用農が独立する場合、雇用主が必ずしも援助出来る経済状態でない場合がある。食事なしの場合は家族移住者（現在）に多く殆んどが30～60コト程度であり家族数の多い家庭ではかなり苦しい生活であり、とうてい雇用賃金で独立資金を調達する事は困難である。



表 1(1)

## パラナ州日系人家族分布表

(○印は推定)

地 区 名	日系人家族	同 人口	調査した戦後移住者数
カ   ン   バ   ラ	112	672	17
ア   ン   シ   ラ	56	336	4
バ   ン   デ   ラ   ン   テ	237	1422	8
サ   ン   タ   マ   リ   ア   ー   ナ	82	492	3
コ   ・   プ   ロ   コ   ビ   オ	214	1284	
セ   ル   タ   ネ   ー   ジ   ャ	119	714	7
ラ   ン   シ   ョ   ア   レ   グ   レ	10	60	
ウ   ー   ラ   ー   イ	297	1782	20
ア   ー   サ   ー   イ	1500	9000	55
ノ   ー   バ   フ   ア   ッ   チ   マ	50	300	
コ   ン   ゴ   イ   ニ   ヤ   ス   近   郊	40	240	5
○ サ   ン   ト   ア   ン   ト   ニ   オ   ・   ド   ・   バ   リ	25	150	3
サ   ン   ジ   ユ   ロ   ニ   モ   ダ   セ   ー   ラ	30	180	2
サ   ン   タ   セ   シ   リ   ア   ・   ド   ・   バ   ヴ   ォ   ン	121	726	2
ジ   ャ   タ   イ   シ   ニ   ョ	74	444	8
イ   ビ   ボ   ラ   シ	87	522	3
リ   ベ   イ   ロ   ン   ク   ラ   ー   ロ	13	78	
ジ   カ   カ   レ   ジ   ニ   ョ	27	162	
カ   ル   ロ   ボ   リ   ス	115	690	29
サ   ン   タ   ー   ナ   ・   ド   ・   イ   タ   ラ   レ	47	282	4
シ   ゲ   イ   ラ   ・   カ   ン   ボ   ス	4	24	
ア   ー   ラ   ボ   チ	2	12	1
グ   ザ   ビ   ラ   ー   マ	62	372	1
ト   マ   ジ   ー   ナ	5	30	

表 1 (2)

(○印は推定)

地 区 名	日系人家族	同 人口	調査した戦後移住者数
グエンセスロウブラス	69	414	8
ジョアキンタポーラ	26	156	2
ジュンジャイ・ド・スール	2	12	
○ピライ・ド・スール	30	180	6
○カ ス ト ロ	60	360	46
ボンタグロッサ	43	258	26
○ク リ チ ー バ	650	3900	14
○アラウカリア	30	180	11
コ ン テ ン ダ	8	48	2
○サンジョゼドスピニヤイス	25	150	10
○カンピーナグランデドスール	20	120	7
○タ ト ウ ク ァ ラ	20	120	6
○パ ラ ナ グ ァ	120	720	
○モ レ ッ テ ス	10	60	
ロ ン ド リ ー ナ	2300	13800	15
ガ ラ ベ ー ラ	108	648	19
ベラビスタ・ド・パライブ	25	150	
アルポラーダ・ド・スール	33	198	
カ ン ベ	63	378	11
ク マ ラ ー ナ	32	192	
パ ル メ イ ラ	20	120	6
ロ ー ラ ン ジ ャ	206	1236	12
ア ラ ボ ン ガ ス	359	2154	24
ア ブ カ ラ ナ	497	1782	17

表 1(3)

(○印は推定)

地 区 名	日系人家族	同 人口	調査した戦後移住者数
グ ア ラ シ	19	114	
ア ラ ル ー バ	111	666	1
フ ァ ッ シ ナ ー ル	15	90	2
ア ス ト ル ガ	224	1344	
カ ン ビ ラ	3	18	
ジャンダイア・ド・スール	65	390	1
マ ン ダ グ ァ リ	100	600	2
マ リ ア ル バ	200	1200	10
マ リ ン ガ	1800	10,800	25
サ ン ジ ョ ー ジ	153	918	1.5
マ ン ダ ガ ス	6	36	
ノーバエスベランサ	113	678	16
バ ラ ナ バ イ	350	2,100	6
サ ン タイ ナ シ オ	7	42	
ル ビ オ ノ ボ リ ス	20	120	
ア ル ト ・ バ ラ ナ	37	222	3
テ ー ラ ・ リ ッ カ	56	336	5
ノーバ・ロンドリーナ	15	90	1
バライゾ・ド・ノルテ	20	120	4
サンタイザベルド・イバイ	52	312	1
タ ン ボ ア ラ	20	120	7
ロ ア ン ダ	50	300	4
ジアマンテ・ド・ノルテ	34	204	5
バ イ サ ン ド ウ	3	18	

表 1(4)

(○印は推定)

地 区 名	日系人家族	同 人口	調査した戦後移住者数
フ ロ レ ス タ	26	156	5
ジ ュ サ ラ	45	270	3
イ タ ン ベ	24	144	
テ ー ラ ボ ア	100	600	3
ガ ウ シ ャ	17	102	1
○ロ ン ド ン	15	150	4
シ ア ノ ル テ	179	1,074	7
タ ベ ジ ャ ー ラ	23	138	9
クルゼイロ・ド・オエステ	230	1,380	3
カ ン ボ モ ロ ン	119	714	1
ベ ア ビ ル ー	10	60	
バルボーザフェラス	7	42	
ウ マ ラ マ	157	942	5
マ リ ア エ レ ー ナ	55	330	53
イ ボ ラ ン	45	270	1
グ ァ イ ラ	162	972	29
ゴ ケ オ ・ エ レ ー	70	420	
フォルモーザ・ド・オエステ	6	42	
ウ ビ ラ タ ン	109	654	19
カンピーナ・ダ・ラゴア	3	18	
カ ス カ ー ベ ル	22	132	5
ト レ ー ド	62	372	18
アシスシャタンブリアンド	51	306	11
フォス・ド・イグアス	4	24	
計	13,099	78,594	696

表 2

ブラジルの人口

州名	1960年 9月の人口 千人	人口(9月現在)				推定人口				千人
		年 61	年 62	年 63	年 64	年 65	年 66	年 67	年 68	
パラナ州	4278	4581	4,905	5,253	5,625	6,024	6,450	6,907	7,397	
サンパウロ州	12,974	13,414	13,868	14,338	14,824	15,326	15,845	16,381	15,936	
マツト・グロソン州	901	960	1,013	1,068	1,127	1,189	1,254	1,322	1,395	
ブラジル全土	70,967	73,088	75,271	77,521	79,837	82,222	84,679	87,209	89,815	

表 3

## ブラジル入国移民数

1963年

国名	移住人員
ドイツ	601
スペイン	2,436
アメリカ合衆国	971
ギリシヤ	340
イタリア	867
日本	2,112
レバノン	547
ポルトガル	1,585
その他	4,388
計	23,859



パラナ州マウワ地区気象統計表

項目	平均気温		最高気温		最低気温		湿度		降雨量		降雨日数		備考	
	1963	1964	1963	1964	1963	1964	1963	1964	1963	1964	1963	1964	1963	1964
月	23.3	22.3	29.6	28.7	18.3	17.2	92	86	382.6	171.8	22	9		
1	23.7	22.0	29.1	27.5	17.3	18.1	88	95	135.2	256.3	14	18		
2	24.7	21.2	29.7	28.2	17.8	16.4	87	87	192.5	168.0	16	8		
3	23.4	21.1	29.5	26.2	14.1	16.3	78	91	18.1	91.8	3	8		
4	20.0	16.7	25.4	22.0	11.5	11.8	86	81	16.4	38.6	2	5	霜 3日	
5	17.4	14.4	19.5	18.7	9.5	10.8	80	92	43.7	138.0	5	11	" 4日	霜 1日
6	19.6	13.3	25.4	19.1	11.2	9.8	76	85	0	51.9	0	8	" 2日	" 4日
7	20.3	17.0	26.4	22.7	12.7	13.2	73	81	13.9	193.1	4	6	" 2日	霜 1日
8	23.8	19.1	30.1	25.5	17.7	12.7	67	80	75.7	63.7	5	7		霜 2日
9	21.1	18.1	27.8	25.3	16.6	14.5	89	81	211.6	155.1	11	10		
10	22.1	23.8	28.0	26.5	16.5	14.7	88	77	224.6	68.1	10	11		霜 1日
11	22.0	21.4	28.3	26.2	16.5	16.3	85	85	204.1	242.3	12	14		" 1日
12	21.7	19.2	28.2	24.7	14.9	14.3	83	86	1518.4	1638.7	104	115		
平均														

表 5

地史学上から見たパラナの土壌の分類

始生代			海岸山脈火崗岩地帯	
原生代			SERIE ACUNGUI	
古 生 代	カンブリア紀		SERIE PARANA SERIE TUBARAO SERIE PASSA-DOIS	
	オルドヴィシアン紀			
	シルリア紀			
	デヴォン紀			
	石炭紀			
	二疊紀			
中 生 代	三疊紀		SERIE SAO BENTO	
	ジューラ紀			
	白亜紀			
新 生 代	第三紀	古第三紀	暁新世	海岸山脈の裸出が行われ哺乳動物植物の出現が見られる。
			始新世	
			漸新世	
			中新世	
			鮮新世	
	第四紀	新第三紀	洪積世	クリチーバ、海岸地帯平野、その他の河沿低地の冲積
			冲積世	

表 6

## パラナ州の境界線分類

境 界 線		距 離 (km)
Oceano Atlantico	大西洋	98
Argentina	アルゼンチーナ	239
Paraguay	パラグワイ共和国	208
Sao Paulo	サンパウロ州	940
Santa Catarina	サンタ・カタリーナ州	754
Mato Grosso	マツト・グロソン州	219
TOTAL	合 計	2,458

表 7

## パラナ州の地理学的位置

南 緯 及 び 西 経	度
南 緯	
最 北 端	$22^{\circ} 29' 30''$
最 南 端	$26^{\circ} 42' 59''$
西 経	
最 東 端	$48^{\circ} 02' 24''$
最 西 端	$54^{\circ} 37' 38''$

表 8

## パラナ州の面積（地域分類）

地	域	面積 (km <sup>2</sup> )
Litoral	海岸地帯	5,788.29
Alto da Ribeira	リベイラ河上流	5,719.79
Castro	カストロ地帯	4,500.14
Curitiba	クリチーバ地帯	7,933.87
Campos Gerais	カンボス・ジェライス地帯	16,792.63
Tomazina	トマザーナ地帯	7,584.29
Alto Ivai	イヴァイ河上流地帯	11,928.31
Oeste	西部地帯	9,686.524
Norte	北部地帯	2,247.57
Campos do Oeste	西部平原地帯	10,823.04
TOTAL	合計	199,555.89

表 9

パラナ州の標高別に見た面積

標	高 (m)	面積 (km <sup>2</sup> )
0	..... 100	2,255
101	..... 200	2,933
201	..... 300	15,375
301	..... 600	74,871
601	..... 900	81,268
901	.....1,500	24,158
1,501	.....	430

表 10

州 別 病 院 数

州 名	病 院 数									
	合 計	公立 病院	私立 病院	内科 (癌)	外科	産婦 人科	ラ イ 病 院	結 核 療 養 所	神 経 科	そ の 他
バ ラ ナ	298	25	273			9	1	3	7	3
ク リ チ ー バ 市	27	6	21			3		1	4	2
サ ン バ ウ ロ	553	45	508	3	5	26	5	35	43	17
サ ン バ ウ ロ 市	103	15	88	2	4	9		3	16	6
マ ット グ ロ ッ ン	45	8	37	1		5	1	1	1	1
ク ヤ ー バ 市	6	2	4	1		1		1	1	
ブ ラ ジ ル 全 土	2,806	425	2,381	16	11	217	55	107	138	62

表 11(1)

## 地 域 別 概 況 表

地域名	日系家族	生産物	温度	雨量	標高	医療衛生	教 育	娯 楽	治 安
1 バンデランテ	237家族	カフェ60万本 カフェ精、精米精粉製材工場	1℃、35℃	1400~1500MM	492M	薬局1	小1、中学市迄		
2 セルタネージャ	119	マモナ、アメントイレ製米所2 カフェ、ミーリオ、アルゴドン	14.6℃、25℃		520M、400M	薬局1(薬剤師1) 茶農場補助	日語学、中1、小学市に2、高等学現在建築中	映1週二、三回、ダンス、フットボール、卓球、映月1回	良
3 サンタ・マリアーナ	82		26℃、21℃、17.4℃		484M	DENTISTA 3 MEDICO3 JAPONES1	TECNICA 1、GINAGIAL 1、小23、中2	CLUBE ESPORTE 1	
4 ヴェセスロウ・プラス	69	養鶏カフェ精選所精米所 カフェ、トマト、パタタ、フェジョン	25.6℃、0℃、17℃		900M	病2、薬5	小3、中1、師2	映1	警1、地方裁、治安良好
5 ジョアキンタボーラ	26	雑作が主である	35℃、8℃	11200MM	634~700M	病1	小2、中1、高1、師1	映2	街灯が少なく暗い
6 モンテアレグレ	10	バナナ松、野菜、パルプ工場、アメリカ 松、マキナ3			800M	病(パルプ工場に完備)	小8、中2	映2 CLUBE 2、PAROVE 2	警2 11 GIOAENOVA 11 M. ALEGRE
7 サンタセリニア・ド・パウソン	121	棉、米、フェジョン、ミーリオ、米	27℃		600~650M	病院なし、ASSAI迄210 KM	小1 中建築中	映1	警1
8 ロンドリーナ(アグア・ベドラ)		一般作物全て			550M	風土病なし、医者病院市迄交通便悪し	小、中、高、大 LONDRINA	映 バイレ、数える程	警察迄4 KM.事件なし
9 ロレーナ植民地	30	葉菜、カフェ、トマト、ミーリオ	22℃内、25℃外		700M	病院なく急病の時不便	学校迄遠し	映	警察あり1~6名
10 ジャンダイヤ・ド・ヌール	65	カフェ、雑作、カフェ選工場2、精米所	24℃	1100~1200MM	550M	医者病院5	小 町2管4、中1、高1、高等商1	映1 教会4	警あり
11 アラボンガス	359	カフェ、米、ミーリオ、大豆	23℃		700M	病院医者なし交通不便	小、日語学有り	不 足	
12 アブカラナ	497	カフェ、フェジョン、米、ミーリオ	29℃、19℃		900M	デンティスト3人、一般外科1人二世の医者		文化体育館建築中、CINEMA、外人クラブ	
13 サン ジョージ	153		23℃、32℃、27.5℃		600M	病院1、歯科3、医者3	小1、中1、ノルマル1	映1 CLUBE 1	
14 ジュサラ	45	フェジョン、大豆、パルミット工場、 カフェ、綿、マモナ、ミーリオ、バター工場	10℃、33℃		450M	医者1(ペルー人)巡回診なし	小1、中1、日語1(天理教) シチオ日曜学校	映2 フットボール2	
15 マウアーサンジョゼ区	16	米、ミーリオ、パタタ、フェジョン、麦 精米所2	25℃	1700MM	1000M	アブカラナ迄45 KM	小1、植民地872.4KM	映月1回、富士植民地	コソ泥程度
16 マウアーフジ・ツピアタン	80	米、麦、パタタ、ミーリオ、フェジョン	22℃	1500~1600MM	1100~1200M	アブカラナ迄60 KMファミナル30 KM	小、中、高迄植民地内に日伯学	月1回村で映画、他はアブカラナ迄	同
17 マウアーノーボオリエンテ	23	米、麦、パタタ、フェジョン	24℃	1600MM	1050M	病3 プラカナ50 KM	植民地内伯語小	月に1回位植民地で	同
18 クルゼイロ・ド・オエステ	230	カフェ、ミーリオ、フェジョン、棉	25℃、27℃		520M	病1、歯科2人	小25、中1 サンパウロ	映1	警1
19 タベジャータ	23	カフェ、米、棉、フェジョン、アメントイ	33℃、40℃		550M	病(個人営業含む)	小(管内)約20、中2、師範高来年開始	映1、日本人館有り	警1
20 テーラ・ボア	100	カフェ、牧畜、雑作、カフェ精選所	38℃、25℃、30℃		400~630M	病3	中1、高有り		警察あり
21 グレーパフィゲータ(マリアエレナ)	10	カフェ、フェジョン、大豆、ミーリオ	27℃~8℃			巡回の歯医者時々来る。	小1 2 km		警察 14 KM

表 11(2)

	地 域 名	日系家族	生 産 物	温 度	雨 量	標 高	医 療 衛 生	教 育	娯 楽	治 安
22	シンコムル(マリア・エレナ)	11家族	米, ミーリオ, 大豆, フェジョン	20℃, 寒暖の差大		500M	ASSIS CHATEAUBRIAND 20km 病院 PALOTINA30km	小1		
23	日光植民地	43	米, ミーリオ, 大豆, フェジョン, ヒマワリ	27℃, 28℃		100~200M		伯小1	映1	
24	イボラン	45	フェジョン, カフェ, 棉, 製棉工場	25℃			病3	小180, 中1, 師1, 日語学(生徒50人)	映1	警1, 裁1
25	カスカーベル	22	フェジョン, 米, 苧荷	30℃, 4℃		750~800M	病院各科 薬多数	高有り	映1	警, 裁, 盗難少々
26	ウヒラタン	100	苧荷, 米, 雑穀	13℃, 2℃		570M	病2, 薬4, 普通の病気手術可能	日語学1, 伯国中有り	映2 CLUBE 5	警, 裁, 各1 治安良好
27	トレード	62	豚, 牛, 雑穀木材	26.7℃, 19.8℃, 12.9℃	1600MM	547M	病2 医者10	高, 中, 小有り	映2 CLUBE 5	治安良好
28	カフェザール	20	綿, フェジョン, ミーリオ, 大豆, 落花生	24℃, 25℃			病院なし IPORÁ ZUMARAMA	小1	カンボ フットボール	装備警2人
29	ウヒラタン(サントイナシオ)	33	ミーリオ, 大豆, フェジョン, 米	30℃, 10℃		600M	UBIRATÁ市 病院2, 薬4, 自動車7	伯小, 日語夜間, 伯語夜間	映1	
30	ノーバ・ブラジル		カフェ, カフェ工場1	17℃, 20℃		500M	薬局2	小1, 日語1	映2	良 好
31	アルト パラナ	37	カフェ, カフェ工場7	18℃, 20℃		700M	病院2, 薬局3(日系2)	小5, 中1, 高2	映月1回 日系団体で	警1, 良 好
32	アデマール デ パッロス	26	カフェ, カフェ工場4, 製材所1	30℃, 14℃, 20℃	1200MM	420M	薬2, 病15	小2	2カ月に1回映画	駐在1 良
33	ジアマンテ・ド・ノルテ	34	カフェ, ミーリオ, 米, フェジョン	16℃		500M	病院なし, 薬局3	小1	1週間に1回日本映画	駐在1
34	テラリッカ	56	カフェ, 牧畜	20℃		459M	病2, 薬7	小2	映1 日本映画月1回	警1 良 好
35	タンボアラ	20	カフェ, 牧畜, カフェ工場4	18℃			病3	日語学(生徒50人)小180 中1 師1	映月1回	警1
36	クリウーバ	16	カフェ, ミーリオ, 米, 豚	12℃, 40.8℃	1400MM	900~1000M	IAAITI 市に行く	GRUPO ESCOL	現在なし	警1 良 好
37	ボンタグロッサ	43	バナナ, 麦, 牧畜, 豚, 米, ミーリオ 木材, 畜産加工	13℃, 33.6℃			医療設備十分	小2, 中4, 教育進んでいる	CLUBE 50 CONTABIL 2 CINEMA 4	軍隊, 犯罪なし DELEGACIA CIVIL
38	カストロ・ビライ・ドスール	100	牧畜, ハゲ工場, バナナ, 米, 小麦 ミーリオ, ソバ	28.9℃, 38℃, 16.3℃		1005M	医療設備十分, 気候良, 風土病なし	高2	CINEMA 1 CLUBE 5	非常に良
39	シアノルテ	179	カフェ, 棉, マモナ, ヒマワリ, 米, アメンドイン, 大豆	28℃, 36℃		555M	病院3	師1(生徒135) 高専1(生徒40) 小(私官併せ)34, 中3(生徒980)	映1	警1



表 12 (1)

パラナ主農産物の耕作面積と生産高

作物	州名	項目 年 度	耕作面積			生産高					
			1962	1963	1964	生産量 (t)			生産金額 (コント)		
						1962	1963	1964	1962	1963	1964
パイナップル	パラナ		965	1,016	986	3,354	3,455	3,443	109,223	233,487	383,185
	サンパウロ		3,597	3,373	2,504	23,026	17,359	16,322	669,168	838,094	1,544,892
	ブラジル全土		26,867	28,472	29,471	183,969	182,724	193,875	3,201,947	4,990,054	10,666,595
棉	パラナ		214,986	245,738	330,107	275,859	269,464	313,489	13,081,652	18,653,757	46,158,237
	サンパウロ		738,935	658,353	622,723	756,224	719,785	575,942	36,350,712	54,306,166	90,892,536
	ブラジル全土		3,457,857	3,553,746	3,748,597	1,902,235	1,956,895	1,770,288	103,146,740	146,875,042	296,958,455
落花生	パラナ		5,793	8,741	11,239	5,560	9,159	11,549	124,644	362,238	1,264,833
	サンパウロ		446,928	390,491	393,793	618,143	570,263	432,953	15,340,820	27,303,696	56,143,090
	ブラジル全土		476,461	422,876	429,837	647,811	603,840	469,671	16,043,180	28,536,118	62,141,404
米	パラナ		258,882	271,924	354,903	335,273	391,803	416,195	12,010,197	21,763,085	38,082,908
	サンパウロ		572,409	675,877	728,173	865,012	910,475	792,128	35,398,252	67,282,122	79,929,913
	ブラジル全土		3,349,810	3,721,800	4,169,761	5,556,834	5,740,065	6,344,931	164,327,003	304,469,179	487,738,100
燕 麦	パラナ		1,704	1,763	1,707	1,112	1,063	1,161	30,063	39,217	72,716
	サンパウロ		3	-	-	2	-	-	96	-	-
	ブラジル全土		26,050	29,037	25,986	19,957	18,173	19,274	53,6059	67,6483	1,406,869
バナナ	パラナ		7,910	7,502	7,744	10,646	10,711	11,123	618,064	1,198,342	2,238,490
	サンパウロ		49,927	51,465	51,297	50,214	47,919	66,399	5,610,258	10,962,840	32,899,825
	ブラジル全土		208,699	221,290	227,700	300,660	313,106	338,206	29,898,499	54,379,487	122,274,714
甘 藷	パラナ		14,153	17,694	18,735	18,790	240,433	264,043	901,818	1,275,745	3,441,482
	サンパウロ		2,301	2,152	2,040	33,427	31,233	30,415	220,386	302,043	471,441
	ブラジル全土		14,467	15,237	15,837	144,784	154,627	159,726	8,600,909	13,703,676	25,504,611
馬 鈴 薯	パラナ		30,334	32,671	36,633	16,4369	198,361	246,736	3,192,655	5,099,921	10,073,718
	サンパウロ		53,869	51,365	53,231	43,2067	44,9791	41,3135	984,1124	17,276,926	19,794,067
	ブラジル全土		196,198	199,788	208,674	1,133,860	1,167,774	1,263,812	23,565,685	38,950,657	58,256,171

表 12(2)

作物	州名	項目 年 度	耕 作 面 積			生 産 高					
			1962	1963	1964	生 産 高 (t)			生 産 金 額 (コ ン ト)		
						1962	1963	1964	1962	1963	1964
コ ー ヒ ー	バ ラ ナ		1,620,798	1,600,674	1,220,736	2,555,155	1,256,526	877,611	96,716,703	76,607,716	128,595,948
	サ ン バ ウ ロ		1,365,136	1,269,668	1,136,689	752,495	1,031,960	377,993	33,660,560	14,806,530	62,557,556
	ブ ラ ジ ル 全 土		4,462,657	4,286,129	3,696,281	4,380,607	3,301,054	2,084,027	158,203,169	181,774,493	294,448,028
砂 糖 キ ビ	バ ラ ナ		29,135	32,772	31,059	1,912,298	2,171,476	2,084,675	1,455,906	2,420,746	8,089,225
	サ ン バ ウ ロ		395,649	422,261	449,235	2,174,196	2,159,988	2,359,155	29,224,940	67,458,632	150,262,392
	ブ ラ ジ ル 全 土		1,466,619	1,509,011	1,519,491	6,253,451	6,372,289	66,398,978	73,713,099	167,518,917	346,341,981
玉 葱	バ ラ ナ		5,848	5,774	6,517	18,672	16,846	20,299	578,890	965,184	1,913,112
	サ ン バ ウ ロ		8,530	7,645	7,424	40,812	32,160	37,518	1,223,111	2,195,705	9,021,996
	ブ ラ ジ ル 全 土		43,379	40,894	47,417	226,620	194,754	241,119	6,992,248	9,822,077	29,339,575
裸 麦	バ ラ ナ		16,860	13,918	12,258	12,675	9,830	9,930	420,601	550,908	991,765
	サ ン バ ウ ロ		128	—	86	128	—	101	4,531	—	15,246
	ブ ラ ジ ル 全 土		25,709	22,879	20,898	19,799	16,535	16,801	611,934	848,326	1,649,008
大 麦	バ ラ ナ		1,986	1,526	1,610	1,537	1,332	1,422	43,816	68,648	136,187
	サ ン バ ウ ロ		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ブ ラ ジ ル 全 土		28,454	30,448	31,164	27,637	20,484	28,668	833,098	967,365	3,269,762
サ サ ゲ 豆	バ ラ ナ		410,716	534,549	123,511	339,301	472,660	539,314	16,921,544	32,131,867	40,213,075
	サ ン バ ウ ロ		276,439	306,982	266,069	158,145	177,763	134,511	10,440,575	15,120,181	14,396,467
	ブ ラ ジ ル 全 土		2,716,257	2,982,436	3,130,562	1,708,983	1,942,364	1,950,683	94,171,068	136,842,187	180,488,222
煙 草	バ ラ ナ		3,461	5,322	5,788	4,831	6,994	8,303	214,587	574,082	1,256,842
	サ ン バ ウ ロ		1,679	1,403	1,734	991	705	910	110,572	124,879	238,622
	ブ ラ ジ ル 全 土		23,229	25,040	25,050	18,704	20,680	21,042	156,261	234,033	499,197
オ レ ン ジ	バ ラ ナ		4,902	5,183	5,202	560,867	581,600	487,360	466,034	812,913	1,599,673
	サ ン バ ウ ロ		44,047	53,429	56,517	294,352	375,124	365,956	3,515,791	6,364,382	16,291,677
	ブ ラ ジ ル 全 土		125,823	138,737	143,793	925,451	1,053,236	1,027,479	12,790,852	24,322,606	56,709,835
パ イ ヤ	バ ラ ナ		11,059	14,266	21,303	13,685	17,143	25,215	334,838	608,655	1,777,548
	サ ン バ ウ ロ		46,459	53,292	62,813	49,211	50,862	53,855	1,399,812	2,175,625	4,256,132
	ブ ラ ジ ル 全 土		284,180	308,187	347,600	224,961	239,860	310,270	5,933,646	9,010,198	19,551,702

表 12(3)

作物	州名	項目 年度	耕作面積			生産高					
						生産高 (t)			生産金額 (コント)		
			1962	1963	1964	1962	1963	1964	1962	1963	1964
マンジョカ	パラナ		38,416	48,626	89,683	651,382	845,181	2,051,355	2,465,396	4,802,742	16,115,632
	サンパウロ		84,324	107,573	116,959	1,477,829	2,104,347	2,145,585	7,460,598	12,470,773	16,170,395
	ブラジル全土		147,6206	1,617,810	1,715,857	19,843,422	22,248,644	24,355,602	8,285,7609	117,178,318	194,783,983
とうもろこし	パラナ		950,065	1,045,094	1,242,709	1,477,855	1,682,948	1,765,283	17,766,660	23,162,648	49,776,273
	サンパウロ		1,116,940	1,265,734	1,153,255	1,721,937	1,960,917	12,990,30	26,407,961	30,888,069	56,972,071
	ブラジル全土		734,7881	7,957,633	8,105,894	9,587,285	10,478,267	9,408,043	14,172,4978	18,125,0364	37,714,5534
トマト	パラナ		1,665	1,672	1,471	10,830	10,914	12,335	331,215	42,6957	917,909
	サンパウロ		10,311	11,749	12,783	238,320	250,466	268,756	57,90,685	8,721,331	16,583,429
	ブラジル全土		34,737	36,197	38,508	488,364	496,098	553,270	11,163,854	17,159,245	34,550,842
小麦	パラナ		85,000	83,994	83,425	70,934	55,564	63,318	2,787,721	3,613,710	8,103,577
	サンパウロ		8,256	4,571	5,053	6,946	1,032	4,829	28,1880	6,4793	81,3926
	ブラジル全土		743,458	793,494	733,597	705,619	392,363	643,004	2,851,1042	24,984,356	89,588,608
ブドウ	パラナ		2,891	2,970	2,728	22,540	22,692	19,905	528,544	963,890	1,582,330
	サンパウロ		14,911	16,199	10,793	68,154	97,541	93,402	2,955,053	5,542,908	9,031,922
	ブラジル全土		69,550	70,563	67,575	400,600	506,802	395,194	7,553,131	17,695,456	22,650,238

表 13

家畜存在推定数

家畜別	頭数		金額(CRS 1000)	
	1962	1963	1962	1963
牛	2,156,575	2,315,980	4,771,830.5	8,828,904.0
馬	623,080	630,185	1,123,925.5	1,948,821.0
騾馬	299,015	304,465	703,039.7	1,156,629.5
豚	6,566,830	6,931,400	5,088,955.5	8,243,309.0
羊	241,455	459,240	454,890	1,126,640
山羊	639,780	693,885	800,140	2,176,170
鶏	19,886,220	20,951,650	5,454,831	9,592,453
アヒル, 鴨, 鳶鳥	533,010	558,500	173,795	294,221

表 14

牛乳生産量 1958/1963年

鶏卵生産量 1958/1963年

年度	リットル	金額 (CR\$1000)
1958	1,617,756	1,237,145
1959	1,605,240	1,627,296
1960	1,798,776	2,564,482
1961	1,968,777	3,953,237
1962	2,722,266	8,095,280
1963	3,227,758	16,647,643

年度	ダース	金額 (CR\$1000)
1958	40,380	796,181
1959	41,017	1,124,015
1960	43,859	1,836,572
1961	48,981	2,836,299
1962	51,995	4,971,528
1963	54,218	8,408,090

表 15

## 山 林 生 産 物

木 材	1962.....	7,392,179	10,276,857 コント
	1963.....	6,048,243	17,337,014 //
薪	1962.....	10,996,234	2,819,175 //
	1963.....	13,117,774	4,982,567 //
マ テ 茶	1962.....	40,783	895,021 //
	1963.....		//
薪 炭	1962.....	5,521	34,498 //
	1963.....	2,766	67,808 //
枕 木	1962.....	636,550	197,486 //
	1963.....	598,008	548,933 //

表 16(1)

## パラナ州における作物の地域別耕作面積と生産高

	コ ー ヒ ー 乾 燥 果		
	ha	アローバ(15kg)	CR\$1,000
Litoral .....	510	36,120	33,050
Alto Ivaí .....	2,000	250,000	255,000
Tomazina .....	49,326	2,608,550	2,707,512
Oeste .....	806,401	45,223,610	46,430,989
Norte .....	533,369	34,995,590	37,791,969
Total .....	1,391,606	83,113,870	87,218,520

	甘 蔗		
	ha	ト ン	CR\$1,000
Litoral .....	1,680	63,790	105,290
Alto Ribeira .....	250	8,060	11,780
Campos Gerais .....	208	6,240	10,380
Tomazina .....	296	10,220	12,381
Alto Ivaí .....	355	6,650	10,395
Iraí .....	45	940	1,860
Oeste .....	8,276	481,800	689,795
Norte .....	18,885	1,514,250	1,950,528
Campos do Oeste .....	661	28,650	42,586
Total .....	30,656	2,120,600	2,834,995

表 16 (2)

## 豚

	千頭	kg	CR\$1,000
Castro .....	29	22,900	1,259
Curitiba.....	167	135,500	6,755
Campos Gerais .....	1,050	801,000	38,704
Alto Ivai .....	27	21,600	1,062
Oeste .....	267	189,000	9,450
Campos do Oeste .....	121	90,000	4,950
Total .....	1,661	1,260,000	62,180

## 落 花 生

	ha	kg	CR\$1,000
Alto Ribeira .....	23	41,700	1,663
Castro.....	20	16,800	756
Curitiba .....	283	318,500	12,217
Campos Gerais .....	408	410,000	15,645
Tomazina .....	70	90,800	3,510
Alto Ivai .....	329	331,500	11,835
Irati .....	270	306,000	11,185
Norte .....	1,851	2,125,400	74,119
Oeste .....	5,700	6,101,190	213,218
Campos do Oeste .....	487	607,300	25,252
Total .....	9,441	10,349,190	369,400

表 16(3)

アルファルファ

	ha	kg	CR\$1,000
Curitiba .....	20	42,700	769
Campos Gerais .....	165	350,000	5,490
Tomazina .....	8	36,000	900
Oeste .....	585	1,865,200	36,686
Norte .....	4,240	24,318,500	548,330
Campos do Oeste .....	244	1,024,000	26,320
Total .....	5,262	27,636,400	618,495

綿 花

	ha	アローバ(15kg)	CR\$1,000
Campos Gerais .....	108	6,140	5,720
Tomazina .....	781	65,230	60,680
Oeste .....	103,814	5,939,520	56,377,000
Norte .....	127,897	11,237,500	12,071,430
Total .....	232,600	17,248,390	17,775,530

米

	ha	俵(60kg) 秣	CR\$1,000
Litoral .....	1,862	53,350	144,850
Alto Ribeira .....	74	2,200	6,380
Castro .....	970	32,800	110,400
Curitiba .....	1,316	35,590	118,469
Campos Gerais .....	17,820	639,200	2,291,100
Tomazina .....	14,720	389,870	1,336,960
Alto Ivai .....	1,330	41,190	126,020
Iratí .....	4,370	141,500	405,230
Oeste .....	65,455	1,979,960	6,072,393
Norte .....	102,765	2,889,000	9,993,105
Campos do Oeste .....	31,745	1,051,500	3,148,700
Total .....	242,427	7,256,160	23,753,607



表 16(4)

燕 麥

	ha	kg	CR\$1,000
Castro.....	165	93,000	4,120
Curitiba.....	487	248,900	9,757
Campos Gerais .....	207	128,600	5,001
Alto Ivai .....	16	12,500	500
Irati .....	63	32,100	1,329
Oeste .....	103	55,600	2,290
Campos do Oeste .....	817	640,500	22,292
Total.....	1,860	1,218,200	45,289

馬 鈴 薯

	ha	噸(60kg)	CR\$1,000
Alto Ribeira .....	257	32520	55,512
Castro.....	1,385	313,400	592,824
Curitiba .....	6,856	553,520	821,601
Campos Gerais.....	5,170	461,000	685,890
Tomazina .....	3,322	396,450	808,060
Alto Ivai .....	2,477	339,300	483,618
Irati .....	8,025	1,094,240	1,601,090
Oeste .....	6,284	459,130	801,702
Norte .....	2,154	182,020	332,787
Campos do Oeste .....	1,298	80,360	124,825
Total.....	37,228	3,911,940	6,307,909

表 16(5)

## パ ナ ナ

	ha	册	CR\$1,000
Litoral .....	5,058	7,762,000	784,560
Alto Ribeira .....	31	50,700	5,206
Campos Gerais .....	26	30,900	31,150
Tomazina .....	276	366,300	42,351
Oeste .....	474	658,400	121,193
Norte .....	1,009	1,264,250	220,400
Campos do Oeste .....	24	30,200	6,040
Total .....	6,898	10,162,750	1,182,900

## ラ ミ ー

	ha	kg	CR\$1,000
Oeste .....	1,092	2,790,500	426,558
Norte .....	5,889	16,628,500	2,672,450
Total .....	6,981	19,419,000	3,099,008

## オ レ ン ジ

	ha	百個単位	CR\$1,000
Litoral .....	193	17,7780	46,747
Alto Ribeira .....	862	1,012,000	189,240
Castro .....	16	1,6740	2,511
Curitiba .....	207	3,45660	77,516
Campos Gerais .....	361	966,050	139,958
Tomazina .....	310	427,010	48,593
Alto Ivaí .....	154	233,450	28,838
Irati .....	103	172,020	23,310
Oeste .....	1,039	1,500,160	284,381
Norte .....	1,591	1,893,510	360,714
Campos do Oeste .....	81	117,320	19,448
Total .....	4,917	6,861,700	1,221,256

表 16 (6)

## 甘 糖

	ha	トン	CR\$1,000
Litoral .....	25	100	600
Alto Ribeira .....	52	850	5,605
Castro .....	258	3,820	20,520
Curitiba .....	1,695	21,270	173,507
Campos Gerais .....	738	10,630	64,272
Tomazina .....	355	4,080	24,094
Alto Ivai .....	618	9,155	48,882
Irati .....	995	12,590	65,591
Oeste .....	9,332	128,250	614,031
Norte .....	3,378	49,190	296,572
Campos do Oeste .....	692	8,655	47,245
Total .....	18,139	248,830	1,362,359

## 大 豆

	ha	俵 (60kg)	CR\$1,000
Curitiba .....	14	175	150
Campos Gerais .....	20	170	255
Irati .....	250	6,980	13,114
Oeste .....	12,074	295,020	402,495
Norte .....	1,687	21,610	43,611
Campos do Oeste .....	65	1,870	3,231
Total .....	14,110	330,825	462,970

表 16(7)

	ha	kg	CR\$1,000
Litoral .....	39	503,000	23,720
Alto Ribeira .....	11	249,000	9,580
Gastro .....	10	55,000	2,750
Curitiba .....	787	7,280,000	261,535
Campos Gerais .....	459	2,539,000	78,766
Tomazina .....	100	2,218,000	101,245
Alto Ivaí .....	21	103,600	2840
Irati .....	25	176,000	4,240
Oeste .....	65	373,500	15,081
Norte .....	115	756,200	38,184
Campos do Oeste .....	9	60,500	2,299
Total .....	1,641	14,313,800	540,240

## 小 麦

	ha	kg	CR\$1,000
Alto Ribeira .....	16	18,200	1,274
Castro .....	579	453,000	33,835
Curitiba .....	10,992	6,955,000	524,158
Campos Gerais .....	5,297	5,091,000	357,337
Tomazina .....	150	112,000	7,613
Alto Ivaí .....	5,687	5,060,000	354,449
Irati .....	29,070	17,251,400	1,180,351
Oeste .....	23,937	18,342,330	1,235,228
Norte .....	3,498	1,641,650	119,333
Campos do Oeste .....	11,120	8,207,150	567,796
Total .....	90,346	63,113,730	4,381,374

表 16 (8)

## ブ ド ウ

	ha	Kg	CR\$1,000
Alto Ribeira .....	111	454,000	16,485
Castro .....	26	82,100	2,984
Curitiba .....	1,329	15,042,600	55,7478
Campos Gerais .....	208	1,315,500	5,5440
Tomazina .....	35	288,800	1,7251
Alto Ivaí.....	73	464,000	2,2995
Irati .....	149	858,750	35,773
Oeste .....	238	1,587,150	88,447
Norte .....	330	1,731,100	139,164
Campos do Oeste .....	183	1,235,420	63,817
Total.....	2,683	23,066,420	1,000,034

## マ ン ジ ョ カ

	ha	t	CR\$1,000
Litoral.....	100	1,300	8,450
Alto Ribeira.....	62	1,875	13,092
Castro .....	65	975	5,363
Curitiba .....	833	12,645	87,853
Campos Gerais .....	1,432	25,750	151,697
Tomazina .....	1,096	21,440	123,840
Alto Ivaí.....	436	6,580	33,783
Irati .....	5,620	84,520	475,693
Oeste .....	26,091	426,530	2,454,745
Norte .....	57,21	698,250	4,076,928
Campos do Oeste .....	700	12,780	76,000
Total.....	42,588	698,250	4,076,928

表 16(9)

玉 ねぎ

	ha	アロパ(15kg)	CR\$1,000
Alto Ribeira .....	36	8,300	6,255
Castro .....	45	7,400	5,799
Curitiba .....	1,447	286,350	259,365
Campos Gerais .....	1,289	245,100	207,827
Tomazina.....	394	51,230	51,498
Alto Ivai .....	543	119,100	83,528
Irati .....	793	135,830	103,159
Oeste .....	627	84,350	67,405
Norte .....	365	52,410	47,774
Campos do Oeste .....	237	62,200	54,912
Total .....	5,776	1,052,270	892,522

ラ イ 麦

	ha	kg	CR\$1,000
Alto Ribeira .....	16	16,000	960
Castro .....	450	446,800	28,752
Curitiba.....	1,851	1,462,200	915,900
Campos Gerais .....	4,982	3,832,250	2,287,750
Alto Ivai .....	2,355	1,847,300	1,165,230
Irati .....	2,872	1,734,370	1,009,910
Oeste .....	1,523	1,053,110	597,450
Campos do Oeste.....	1,255	859,500	490,270
Total .....	15,304	11,247,530	6,763,630

表 16(10)

## ハ ッ カ

	ha	トン	CR\$1,000
Oeste .....	12,150	100,460	1,010,390
Norte .....	700	3,280	40,880
Total .....	12,850	103,740	1,051,270

## フ ェ ジ ョ ン 豆

	ha	俵	CR\$1,000
Litoral .....	247	4,170	15,699
Alto Ribeira .....	4,730	61,180	236,086
Castro .....	3,450	44,180	171,120
Curitiba .....	11,591	139,380	515,587
Campos Gerais .....	21,393	273,980	1,046,948
Tomazina .....	21,054	399,220	1,648,225
Alto Ivai .....	20,740	341,150	1,256,184
Irati .....	15,005	258,270	951,862
Oeste .....	159,252	3,190,310	11,792,247
Norte .....	187,462	3,015,140	12,073,389
Campos do Oeste .....	4,970	80,100	289,306
Total .....	449,894	7,807,180	29,996,683

表 16(11)

煙 草			
	ha	乾燥葉 アローバ (15kg)	CR\$1,000
Alto Ribeira.....	149	15,900	17,179
Curitiba .....	444	46,060	60,948
Campos Gerais .....	145	10,800	13,050
Tomazina .....	15	840	1,260
Alto Ivai .....	387	32,110	38,743
Irati .....	530	56,690	71,150
Oeste .....	3,553	315,290	377,769
Campos do Oeste.....	100	10,120	12,852
Total .....	5,323	487,810	592,951

ヒ マ			
	ha	kg	CR\$1,000
Oeste .....	3,453	5,667,800	166,041
Norte .....	1,894	12,684,600	475,812
Total .....	15,347	18,352,400	641,853

西 瓜			
	ha	個	CR\$1,000
Litoral .....	31	47,400	3,026
Alto Ribeira .....	26	38,000	2,220
Curitiba .....	205	323,600	14,332
Campos Gerais.....	492	588,000	34,420
Tomazina .....	298	373,500	23,637
Alto Ivai .....	381	222,000	8,653
Irati .....	135	151,000	9,028
Oeste .....	240	2,747,300	152,093
Norte .....	680	920,600	55,856
Campos do Oeste .....	52	52,200	3,316
Total .....	4,710	5,372,600	306,581



表 16 (12)

## トウモロコシ

	ha	俵 (60kg)	CR\$,1000
Litoral .....	1,340	33,560	39,580
Alto Ribeira .....	20,705	427,370	518,481
Castro .....	19,100	499,250	474,287
Curitiba .....	77,495	1,917,590	1,795,331
Campos Gerais .....	32,932	765,050	744,930
Tomazina .....	38,377	997,000	865,552
Alto Ivai .....	76,500	2,033,000	1,706,700
Irati .....	48,050	1,350,000	1,247,805
Oeste .....	276,325	9,602,910	7,945,698
Norte .....	312,769	8,683,810	7,472,048
Campos do Oeste .....	19,922	486,000	476,595
Total .....	923,515	26,795,840	23,287,007

表 17

作物別生産費試算表

(1アルケール当)(パラナ州)

項目	作物	陸 稻	棉	トウモロコシ	落花生	トマト	馬鈴薯	備 考
借 地 料			200000	24200	70000	121000	50000	
整 地 費		63000	70000	72600	81000	837300	385000	
種 苗 費		20000	17500	10900	140000	330000	1056000	
肥 料 費			144000	205700	40000	3,980,900	1,152,100	
農 薬 費			130000	16900	73000	1,398,400	1,377,900	
資 材 費						591,700		
燃 料 費						401,700		
労 力 費		104000	271,500	184,000	232,000	2,932,900	1,172,300	
植付・播種		10000	7500	46000	12000	159700	130400	
施肥・追肥			7500			993,700		
消 毒			25000	3600			347,100	
中耕・除草		22000	40000	21800	5500	1,038,200	56000	
支柱立・摘芽								
その他肥培管理		25000	86500	40000	64500	266200	494800	
収 獲 費		47000	105000	72600	150000	475,100	144,000	
箱 代・袋 代		40000	25000	58,100		1,633,500	344,000	
運 賃		24000		12200	45,000	907,500	600,000	
販 売 手 数 料								
生 産 費 合 計		251,000	858,000	584,600	681,000	3,134,900	6,138,100	
収 穫 量		80 俵	300 アロバ	145 俵	500 俵	3630 箱	800 俵	
単 価		7,000	4,000	6,000	4,000	4,500	12,000	
粗 収 入		560000	1,200,000	870000	1,200,000	16,335,000	9,600,000	
差 引 純 益		309,000	342,000	285,400	519,000	3,200,000	3,461,900	
備 考		サンタセ リア地区無 肥料作付が 多い。	アサイ地 区			100K 輸送 の場合	S P 布渡	①等かしの 値がある。② 等かしの値は 少ない。③ の元数をかしの 元数は付いた 粗かしの 相場が定

表 18(1)

## 都道府県別移住者数

都道府県	家族	人員	单身	計
北海道	17	89	5	94
青森	6	28	4	32
岩手	1	2	5	7
宮城	8	45	1	46
秋田	2	13	1	14
山形	28	123	3	126
福島	35	189	6	195
新潟	8	34	6	40
茨城	7	45	3	48
栃木	4	21	3	24
群馬	9	38		38
埼玉	5	17	9	26
千葉	3	10	5	15
東京都	9	43	6	49
神奈川県	2	13		13
山梨	2	7		7
長野	11	42	4	46
静岡県	6	30	3	33
富山	4	19	2	21
石川	6	27		27
岐阜	4	19	1	16
愛知	11	63	1	64
三重	6	24	4	28
福井	4	17	2	19
滋賀	1	4		4

表 18(2)

都道府県	家 族	人 員	単 身	計
京 都	2	11	1	12
大 阪	4	19	2	21
兵 庫	4	27	2	29
奈 良	1	2		2
和 歌 山	16	93		93
鳥 取	1	3		3
鳥 根	5	18	2	20
岡 山	11	59	3	62
広 島	14	83	1	84
山 口	31	182	4	186
徳 島	8	28	2	30
香 川	2	6	1	7
愛 媛	11	58	2	60
高 知	35	199	2	201
福 岡	35	184	3	187
佐 賀	26	144		144
長 崎	71	418	3	421
熊 本	37	232	7	239
大 分	4	18	2	20
宮 崎	6	31	1	32
鹿 児 島	32	184	5	189
沖 縄	32	228	1	229
合 計	587	3,189	118	3,307

表 19

在パラナ州移住者の州

州別	年次 型 態	1951		52		53		54		55		56		57	
		単	家	単	家	単	家	単	家	単	家	単	家	単	家
パラナ州	雇		1				3	6	12	12	16	18	33	17	32
	分						1		4		3		3		6
	借								1				1		
	独		1						1		1	1			
	小計		2				4	6	18	12	20	19	37	17	38
サンパウロ州	雇			1			1	3	6	17	5	16	10	16	8
	分								2		1		2		1
	借								1		2				2
	独	1													1
	小計	1		1			1	3	9	17	8	16	12	16	12
アマゾナス州								3							
バラ州						1		3		1					1
マツト・グロッソ州															
マラニョン州															
バイヤ州						2									
リオ・グランデス州															2
リオデジャネイロ州								1							
小計						3		7		1					3
合計		1	2	1			8	9	34	29	29	35	49	33	53

別年次別入植表 (A)

58		59		60		61		62		63		64		65		計		合 計
単	家	単	家	単	家	単	家	単	家	単	家	単	家	単	家	単	家	
29	39	15	25	25	35	13	22	12	14	3	2	9	1	3		162	235	397
	8	1	7	1	8	1	8		2		4					3	54	57
1							2		1				1			1	6	7
	2				2			2	2	2			2			5	11	16
30	49	16	32	26	45	14	32	14	19	5	6	9	4	3		171	306	477
13	6	9	11	20	8	15	2	3	2	3	1	1		1	1	118	61	179
	1	1	2	1		1			1							3	10	13
1	2						1									1	8	9
			1													1	2	3
14	9	10	14	21	8	16	3	3	3	3	3	1	1		1	1	123	81204
					1		1											5
							1	1								1	7	8
							3										3	3
					2													2
																		2
					1													3
																		1
					4		5	1								1	23	24
44	58	26	46	47	57	30	40	18	22	8	7	10	4	4	1	295	410	705

表 20

家族移住者の学歴別農家形態表

	旧小学校		旧高小学		旧中学		旧大・旧専		その他		新中学		新制高校										新大		計			
	中退	卒	中退	卒	中退	卒	中退	卒	中退	卒	中退	卒	農		工		商		普		中退	卒	中退	卒		中退	卒	
													中	卒	中	卒	中	卒	中	卒								中
独立		24	3	70	6	21		4	1	6	2	18	2	1		4				1	8	2	14	1	2			174
借地		15		18	1	6		4		1	1	5	4		1		1				5		11				62	
分益		39	2	46	1	9	1	1	2	3	2	13	4	1	3					3	5	5	12	1	1		138	
雇用		9		10	1	1				3		5	2	1			1	1		1	1	2	4			1	36	
計		82	5	144	9	57	1	9	3	13	5	41	2	12	2	8	1	2	4	19	9	41	2	4	2	4	410	

表 21

現在独立機（家族）の暦伯年次別携行資金

携行ドル	1951		52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	計
	1951	1951	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	
0					3	3	3	3	1	3	2						18
1~100	2			1	7	6	8	9	6	3	1	2					45
101~300				1	1		4	6	5	4	1	1					23
301~500					2	1		2	2		4	1					12
501~800					1	2	2	1		1	1	1					9
801~1000				1	1	1	6	4	2	4	1		4				24
1001~1500				1	1	1	2		1			2	1	1			10
1501~2000						2	1	2	2	2		1	1				11
2001~3000							1	1	1	3					1		7
3001~5000					1	1	1	1	3								7
5001~				1	2	1	1				1		1		1		8
計	2			5	19	18	29	29	23	20	11	8	7	1	2		174
携行資金総額	40			7,395	9,160	50,915	252,001	180,231	237,901	160,351	113,951	55,701	13,000	1200	6,000		2,007,251
一 家 族 平 均	20			1,477	1,008.4	2,828.6	868.9	621.4	1,034.3	801.8	1,035.9	696.3	1,855.6	1,200	4,500		1,153.5



表 22

单身移住者の携行資金と独立年次表

携行資金	独立年次		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	小計	合計
	单身	妻帯													
0 \$	单身						1	1						2	16
	妻帯					3	3	3	2	1		1	1	14	
0~50	单身					1	1	4		1				7	26
	妻帯		1	1	1		4	4	7	1	1			19	
51~100	单身				2			1						3	15
	妻帯	1		1	2	2	4	1	1	1	1			12	
101~200	单身			1										1	2
	妻帯		1											1	
201~500	单身					1			1					2	7
	妻帯				1	1	1	1	2		1			5	
501~1,000	单身													—	2
	妻帯			1			1							2	
1001~2,000	单身								1					1	8
	妻帯			1				3	2		1			7	
2001 以上	单身							1						1	5
	妻帯			1	1	1	1					1		4	
計	单身			1	2	2	2	3	6	2	1			17	81
	妻帯	1	2	5	7	16	9	14	3	4	2	1	1	64	



表 24

家族移住独立者の独立迄の年数と携行資金

携行資金	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 ~ 100	100	90	2	290	4	110	775	240	300	150	20	20	2,075
101 ~ 500	335	2	200	910	5	805	600	480	3	2			3,930
501 ~ 500	400	1	400	6	830	1,130	500	450	1		400	1	4,530
501 ~ 800				600	1,200	550	1,250	560	1		600	1	4,760
801 ~ 1,000	1,000	2,900	1,000	4,730	1,000	3,680	6,030	1,850	1,840				24,030
1,001 ~ 1,500	1,500	5,490	1,200	1,300	1,100	1,500							12,090
1,501 ~ 2,000	1,600	3,500	8,000	1,600	5,300	1,600	5,280						26,880
2,001 ~ 3,000	6,000		3,000	5,600	10,530	2,300	2,350						29,340
3,001 ~ 5,000	4,200	10,000				3,200		3,200	1	3,600			24,200
5,001 ~	5,250		5,550	7,000	18,450								103,300
計	7,200	22,725	19,440	21,800	49,320	14,875	6,785	3,130	5,790	3,750	1,000	20	258,635
平均	643.3	1,420	1,388	1,147	1,700	783	494	224	643	1,250	250	20	

表 25

家族移住者の看伯年次と携行資金

看伯年次 携行ドル	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	計
0\$	1		1	5	6	6	8	4	6	9	5		1		1	52
1~100	2		2	14	11	15	16	21	10	13	10	2				116
101~300			2	2	2	5	12	11	10	14	5	7		2		72
301~500				4		2	4	4	3	7	3	2	2			31
501~800				3	2	3	1	4	5	3	4		1			26
801~1000			1	2	1	8	5	4	5	5	3	6				40
1,001~1,500			1	1	1	5	2	1	2	1	6	1	2			23
1,501~2,000					2	1	2	4	2	1	3	2	1			18
2,001~3,000						1	2	1	3	3		1		1		12
3,001~5,000				1	2	2	1	4								10
5,001~			1	2	2	1				1	1	1		1		10
計	2		8	34	29	49	53	58	46	57	40	22	7	4	1	410
携行資金総額	40		7,765	22,957	61,445	25,200	25,540	38,995	25,143	32,694	37,642	21,042	5,150	9,480	0	274,399
一 家 族 平 均	20		971	675	2,119	514	482	672	548	574	941	956	745	2,370	0	666

表 26

独立時の稼働力

区分	産業稼働力										計	
	1.1~2.0	2.1~3.0	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1~6.0	6.1~7.0	7.1~8.0	8.1~9.0				
単身移住妻帯独立者	4	5	2									55
家族移住独立者	2	5	3	3	1	5	1	1				174
計	7	6	3	3	1	5	1	1				229

(注) (1) 単身移住妻帯独立者 55 名の外、単身移住で現在も単身独立者 17 名

(2) 単身移住妻帯独立者で独立時に単身であったもの 7 名

(5) 上表 229 名の他妻子独立者 2 名

表 27

農 家 型 態 別 稼 働 力 (A)

現在の 農家型態 稼働稼働力	年 令										計
	1 以内	1.1~2.0	2.1~3.0	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1~6.0	6.1~7.0	7.1~8.0	8.1以上		
借 地 農	27	36	27	17	10	7	2				126
分 益 農	12	59	31	41	24	15	10	2	1		195
雇 用 農	66	32	10	7	9	4			1		129
計	105	127	68	65	43	26	12	2	2		450

(注) 1. 独立農の場合は表第 表により集計し差異をみた。

2. 上表稼働力の労働換算は下表による

稼 働 力 換 算 表 (B)

性 別	年 令									
	~5	6~14	15~19	20~29	30~59	60~				
男	0	0.3	1.0	1.0	1.0	0.6				
女	0	0.3	0.8	0.8	0.8	0.4				

表 28

## 独立世の着伯時の稼働力と独立迄の年数

稼働力 年数	独立迄の年数										計	
	1	1.1~2.0	2.1~3.0	3.1~4.0	4.1~5.0	5.1~6.0	6.0~					
0		3	6	3	3		2					17
1		2	7	2	1		1					13
2		1	8	3	2			4				18
3		4	10	8	1			3				26
4	1	5	9	4	3		1					24
5	1	3	5	7	3							19
6		9	8	6	4			1				28
7		5	3	2	2			1				13
8		2	6									8
9				1								1
10				2								2
計	2	34	62	58	19	10	3					169

(注) 1. 家族移住し現在分家独立しているもの5人を除く。

2. 単身移住者の独立は着伯時は稼働力1.0のため別表で独立迄の年数をみた。

表 29

## 単身移住青年の現況

項 目	コチア青年	南伯雇用	指名呼寄	青年隊	実習生	計
単身独立	7	1	2	1		11
独立・借地	1					1
共同独立	4		1			5
借地農	10		6			16
共同借地			2	6	1	9
分 益	1		4			5
分益・雇用	1		1	2		4
雇 用	43		17	4		64
養子独立			1			1
計	67	1	34	13	1	116



表 50

単独青年移住者の現地結婚致

配偶者 移住形態 営農形態	花 嫁 呼 寄			一 世			二 世			計
	コ チ ア	青 年 隊	呼 寄	コ チ ア	青 年 隊	呼 寄	コ チ ア	青 年 隊	呼 寄	
独 立	5	1	2	5		13	10		21	57
独 立・借 地							1		1	2
独 立・雇 用	1			1						2
養 子 独 立							3			3
借 地	2		1	7	2	9	9		4	33
借 地・独 立	2						3		1	6
分 益	3	2	1	5	1	5	8		13	40
分 益・独 立			1	1		1			2	5
雇 用	4		1	2	1	2	6	1	8	25
雇 用・独 立	1			1					2	4
計	18	3	6	21	4	30	40	1	52	177

表 51

単身移住者の独立年次表

独立年数	独立年数											合計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		小計
コチア	単身	1	1	1	3	2	1	1				10	38
	妻帯			2	3	5	11	2	1	1		28	
呼寄	単身		1			4						5	38
	妻帯	1	2	3	4	11	4	2	1	2	1	33	
青年隊	単身				1							1	5
	妻帯					2						2	
その他	単身						1					1	2
	妻帯							1				1	
計	単身		2	1	2	3	6	2	1			17	81
	妻帯	1	2	5	7	16	9	14	3	3	1	64	

表 52

单身青年移住者（現在单身）の耕作面積と作物

面積 (アルケール)	独						借						農									
	雑作	トマト	ハツカ	果樹	馬鈴薯	養鶏	計	雑作	トマト	ハツカ	果樹	馬鈴薯	養鶏	計	雑作	トマト	ハツカ	果樹	馬鈴薯	養鶏	計	
0~1		3			1		4	1								2						6
1~2					1		4	2								1						8
3~5	1	1		1			4	3								1						4
5~10					2		2	1								1						3
10~15			1		2		3									2						2
15~20								1													1	2
20~30																						
30~50																						
50~																						
計	1	4	1	1	6		17	8	2	2	6				6							25





表 55

借地農の作物別耕作面積

作物 面積	コヒトと雑作		綿		ラ	雑作			果樹と野菜	七菜			馬令薯			計			
	綿	綿とその他	計	雄		米とその他	落花生	計		七菜	トマト	トマトと七菜	計	馬令薯	馬令薯		馬令薯		
(アムケール) 0.5						1				7	1	6	14	1	2	5	1	19	
0.5 ~ 1.0						3	1		4	4	1	7	12	2		2		18	
1.1 ~ 2.0			1			7			7	5	2	7	14	2	4	6		29	
2.1 ~ 3.0			1			6			6	1	1	1	3		1	1		12	
3.1 ~ 5.0			3			5	1		6			2	2	3	2	5		18	
5.1 ~ 7.0			3			5	1		4					1		1		8	
7.1 ~ 10.0			1	1	2	1			1					2	1	3		6	
10.1 ~ 20.0						1	1	1	3					5	2	5		8	
20.1 ~ 30.0						1	1	1	2					1	1	2		5	
30.1 ~						1			1					1	1	2		5	
計	5	9	1	10	1	29	4	2	35	1	17	5	23	45	16	14	50	1	126
耕作面積	13.0	44.0	8.0	52.0	30.0	146.0	52.0	19.0	217.0	1.5	18.0	7.5	35.0	60.5	72.5	136.5	50.0	0.5	683.5

表 56

家族移住者の帯伯年数と移動回数

回数	0			1			2			3			4			5						
	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分				
0				2		1			2	1					5	2		2				
1				1		1	1		2			4	3	5	6	4	4	3	10	2		
2							2					1		1	1	2	6	1	3	1	11	2
5										1		1	3	1	1	3	1	1	2	3	7	1
4																			1	2		
5																						
6																						
計				3	1	1	3	4	2	7	4	10	1	8	9	15	8	11	8	32	5	
合計				5			9			22			40			56						

回数	6			7			8			9			10			11						
	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分				
0				2	2	1	4									1			3			
1	12	2	3	2	6	1			5	2	2	4	6	1	3	3	3					
2	6	5	5		11	6	9	2	7	1	5	8	2	6	1	5	7	1	4	1		
3	3	1	2		2	2	1	7	1	3	7	1	2	3	1	3	4		1	1		
4			1		2	1	3	2	5	2	3	5	2	1	1	2	3	2				
5							1	1		2		1	1		1							
6																						
計	21	8	13	4	22	11	18	6	29	4	18	2	29	8	14	1	16	2	8	18	6	5
合計	46			57			53			52			26			34						

	12			13			14			計			合 計	
	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分		合 計
0										8		17	8	33
1	3						1			66	20	36	11	133
2		1					1			52	19	50	8	129
3	1									30	13	19	6	68
4	1									18	8	11	2	39
5														7
6														1
計	5	1					2			174	62	138	36	410
合計	8						2			410				



表 37

単独青年移住者の滞伯年数と移動回数

回	滞伯年数		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	14	計
	单身	妻帯															
0	单身		3	6	3	8			1	1	1					1	26
	妻帯				1		1	1	1								5
1	单身		1	4	3	6	13	10	5		1	1	1				45
	妻帯						2	8	3	8	5	10	2	1			39
2	单身				1	2	7	6	2	4	2	1					25
	妻帯						2	9	9	10	14	11	12	2	1		70
3	单身					1	3	5		2	1	1					13
	妻帯					1		3	4	12	5	5	8	4			42
4	单身							2		2	1	1					6
	妻帯								2	2	1	4	4	2			15
5	单身								2	1							3
	妻帯																4
10	单身										1						1
	妻帯																
計	单身		4	10	7	17	25	25	8	10	7	4	1			1	119
	妻帯				1	1	5	21	19	33	26	31	28	9	1		175

表 58

独立農の独立迄の滞伯年数と移動回数

回数	年数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
0	16														16
1	2	12	10	16	17	17	10	5	7	1		1			81
2		2	4	13	15	15	19	16	9	5	2	2	2		89
3					2	5	9	12	7	7	1	3			46
4						1	2	5	7	2		5		1	23
5															
計	18	14	14	31	58	58	40	38	30	15	3	11	2	1	255

備考 1. 滞伯後まもなく独立した16名の内 1,000 ~ 2,000 ドル移行したもの 5名  
 2,000 ~ 3,000 " " " " 2"  
 6,000 " " " " 2"  
 8,300 " " " " 1"  
 42,000 " " " " 1"  
 2. 滞伯1年目に独立したもので 1,000 ~ 2,000 " " " " 5"  
 4,000 ~ 5,000 " " " " 1"  
 6,000 " " " " 1"  
 1,000 ~ 2,000 " " " " 7"  
 5,000 " " " " 1"  
 3. " 2年目 " " " " 1"  
 " 3年目 " " " " 6"  
 2,000 ~ 3,000 " " " " 2"  
 4,000 ~ 5,000 " " " " 2"  
 1,000 ~ 3,000 " " " " 9"  
 5,000 " " " " 2"  
 1,000 ~ 2,000 " " " " 5"  
 2,300 " " " " 3"

表 59

単独青年移住者で現在妻帯者の移動回数と営業型態

回 数	独 立 営 業				借 地 営 業				分 益 営 業				雇 用 営 業				合 計				
	コ チ 了	呼 寄	背 年 隊	そ の 他	計	コ チ 了	呼 寄	背 年 隊	そ の 他	計	コ チ 了	呼 寄	背 年 隊	そ の 他	計	コ チ 了		呼 寄	背 年 隊	そ の 他	計
0		2			2	1				1					2	2				2	7
1	4	7			11	6	3			9	9	3			12	5	3			8	40
2	12	14			26	4	8			12	6	12	3	1	22	3	6			9	69
3	8	9	2		19	8	3			11	2	3			5	2	3	2		7	42
4	1	4			5	3	1			4		3	1		4	1	1			2	15
5	1				1	1		1		2						1				1	4
計	26	36	2		64	23	15		1	39	17	23	4	1	45	14	13	2		29	177

表 40

単身青年移住者（現在独身）の移動回数と営農型態

営農型態 移住型態	独 立 農				借 地 農				分 益 農				雇 用 農			計
	コ チ ア	呼 寄	青 年 隊	南 伯	コ チ ア	呼 寄	青 年 隊	そ の 他	コ チ ア	呼 寄	青 年 隊	コ チ ア	呼 寄	青 年 隊		
0	1					2	2			1	1	14	5		26	
1	3	2			5	1	1	1	1	1	4	20	3	1	45	
2	3	1	1		5	3	3					4	4		24	
3	2		1			1			1	1		3	1	3	15	
4	1									2		1	1		5	
5						1						1	2		4	
計	12	3	1	1	10	8	6	1	2	5	5	45	16	4	117	

(註) 上表117人の外移動回数10回(雇用農呼寄)が1人



表 42

単独青年移住者（現妻帯）の舊伯時農家型態と移動回数

舊伯時農家 現在の 移住回数	独立			借地			分益			雇 用			計			合計			
	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分				
0	3				2				4						3	2	4	19	28
1							1				29	25	36	30	25	36			91
2									1		23	4		6	23	4	1	6	34
3														7	6	4	2	7	20
4						1					1	1		2	1	1		2	4
5																			
計	3				3		1		5		60	36	40	29	64	59	45	29	177

表 45

単独青年移住者（現単身）の着伯時農家型態と移動回数

着伯時農家 型態 現在の農家 移動回数	独立			借地			分益			雇 用			計			合 計				
	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分	独	借	分					
0					5											57	5	5	57	67
1										9	14	6					9	14	6	29
2	1									5	5	1	5	6	5	1	5	1	5	17
3										2	1		1	2	1		1	2	1	4
4																1				1
5																				
計	1				5					16	20	7	64	17	25	12	64	12	64	118

表 44

独立後より現在の農家型態に変わった理由

移住型態	現在の型態	独立年次	着信後の独立年次	独立時の主作物	稼働力(独立時)	理由
家族	分益	1962-10	2年目	雑作	3	立地条件(地質)悪い, 市場が遠い
"	"	"-10	"	"	2	" 悪く収益なし
"	"	1960-9	"	"	3	生産物の出荷困難
"	"	1954-7	"	"	3	交通不便, マラリヤ多いため
"	"	58-4	4	コーヒー	2	土地の競争のため
"	"	62-5	2	綿	2	交通不便, 子弟の教育上のため
"	"	62-2	"	コーヒー	2	障籍が多いため
"	"	62-4	"	"	2	隣入耕地の湖こん蚊の調遣困難
"	"	59-7	1	"	2	健康上のため
"	雇用	60-3	7	雑作	4	土地を売却したため
"	"	54-9	"	雑作	2	立地条件悪い(アマゾン州より雇用農としてパ州に来る)
"	借地	63-12	9	陸稲野菜	2	土地がやせ地のため
"	"	62-1	1	野菜	5	市場に遠いため
"	"	60-7	"	"	2	耕地不良(マラニオン州より転住)
"	"	55-7	"	"	2	結婚 分家のため
"	"	63-	1	"	2	耕地がせまかつたため(ドミニカより1962年転出)



家 族	借 地	1962-	6 年 目	そ 菜	2	サンパウロ州に一度行き再びベ州にもどる。
"	独 立	54-9		水稲・コム	2	北伯了マバー移住地より転住
"	"	54-6		コム・カカオ	3	" マナオス " より転住, 生活困まゆりのため
"	"	55-11	2	コーヒー	4	ハツカ栽培に切りかえその後借地より独立する
"	"	58-9	2	陸 稻	4	耕地交換を行い借地をして再独立する。
"	"	54-6		雑 作	3	耕地不良で雇用農になり再独立する
"	"	58-1		そ 菜	3	市場性がなく, たい借地盤になり再独立する
"	分 益	62-9	3	コーヒー	8	家族の病気により富農資金調達困難になる
身 草 (妻帯)	借 地	59-9	3	トマト	1	耕作物の変更, 雇用農一分益一借地農となる
"	分 益	58-7		ゴ ム	1	富農資金の不足のため(北伯より転住)
"	"	64-6	4	コーヒー	1	分家独立の準備のため分益農になる
"	"	63-11	8	陸 稻・ カンキツ	2	耕地不良
"	雇 用	64-7	7	陸 稻	1	稼働力不足のため
"	独 立	58-7	2	そ菜・養鶏	1	事業不振, サンタカタリーナ州より転住
身 草 (独身)	借 地	61-8	3	そ菜・雑作	1	独立後前雇用主に呼び戻された。
"	独 立	61-7		雑 作	1	健康上の理由で分益農になり再独立する
"	"	61-1		そ 菜	1	耕地不良と不健康地のため

表 45 子弟の伯国に於ける就学現況表

養家型態	小学校適令者数 (7-10才)	小学校適令者 で未就学者数	小学校			中学校			高等学校			計			
			在	中	卒	在	中	卒	在	中	卒				
雇	16	2	29	12	13	54	3	1	1	5				59	
分	57	9	119	39	52	210	16	1	2	19	2			231	
借	50	10	74	10	31	115	12	1	2	15	1			152	
独	101	15	153	40	81	274	55	10	7	72	6			353	
計	224	36	375	101	177	653	86	13	12	111	9	1	1	11	775

表46

## 雇用農の作物別賃金

条件	雇用作物	コーヒー	棉	雑作	そ菜	馬令薯	養鶏	養豚	果樹	その他	計
	月給										
食事付	0 ~ 10			1	1	4		1			7
	11 ~ 20	2	1			8				1	12
	21 ~ 30	3		1		13		1	1	1	20
	31 ~ 50	3	1		1	4				1	10
	51 ~ 60	1		1	1	1				1	5
	61 ~ 80	1		1		1				1	4
	81 以上										
食事なし	0 ~ 10										
	11 ~ 20	4				1					5
	21 ~ 30	6		1	1						8
	31 ~ 50	11			2	2	4			2	21
	51 ~ 60	2		1	2	2	2	2		1	12
	61 ~ 70						2	1		1	4
	71 ~ 80	1					1		2	1	5
81 以上	1	1							1	3	
その他	家族待遇			1		7			1		9
	その他	2		1						1	4
計		37	3	8	8	43	9	5	4	12	129

表 47

雇用農地域別賃金表

単位 1,000 クルゼイロス

地 域		主作物	雇用農賃金		備 考
			食事付	食事なし	
南 東 部	カ ス ト ロ	馬鈴薯、野菜	10 ~ 60		コチア青年が多く組合の規定に準ずる。家族待遇多し。12件 〃 〃 もう1件は家族待遇(固定給なし)
	ボンタグロツサ	馬鈴薯、小麦	10 ~ 45		
	バルメイラ	バタタ、小麦	60		
	クリチバ	野菜、養鶏	40		
	アラウカリア	養鶏		50	
北 部	カルロポリス	野菜、養鶏	25 ~ 60		コチア青年多し。 野村農場 バンデイランテより 12km 厚生植民地 コチア青年は 16000 クルゼイロス  1件は耕地の年収の 10% 100 の分は管理 コーヒー5年契約 耕作は全部耕作者に
	サンタアメリカ	養鶏、コーヒー の精選工場管理		50 ~ 60	
	バンデイランテ	養鶏		60	
	ア サ イ	コーヒー、野菜、棉	16 ~ 60		
	ロンドリーナ	野菜、養鶏		50 ~ 60	
	カラベーラ	コーヒー、ラ ミーフェジョン	35		
	アラボンガス	コーヒー、養鶏		50 ~ 60	
	マ ウ ア	バタタ、と うもろこし	8 ~ 20		
	マ リ ン ガ	野菜、コーヒー	30	100	
サンジョージ	コーヒー				
西 部	ジ ユ サ ラ	ブドウ栽培	23		あとコーヒーのホルマの5年契約、 収穫物は耕作者に  コーヒーのホルマ、1本 40 クルゼイロ ス。雑作の収益全額耕作者に  この他コーヒーの諸負 1000 本に対し 70,000 クルゼイロスが1件
	シアノルテ	コーヒー、落花生	30		
	ウマラマ	コーヒー、野菜		60	
	グアイラ	米フェジョン とうもろこし	7		
	ウピラタン	コーヒー			
	ツパンシー	コーヒー		75	
	フロライ	コーヒー		40	
	ジアマント・ノルテ	コーヒー		30	

雇用農はカルロポリス、カストロ、ボンタグロツサ方面が多く、全件数 129 件のうち 56 件を占めそのほとんどがコチア青年である。

## 地区別土地代及び借地料 (アルケール)

単位=コソト

地 名	土 地 代	借 地 料
カ ン 巴 ラ	アルケール 2,000	年間 アルケール 150
ア サ イ	1,000 ~ 2,500	300
ウ タ イ	1,500 ~ 2,000	50
ジヤタイ ジツニヨ	1,000	50
イ ビ ボ ラ ン	2,000 ~ 2,500	100
サンジエロニモ・ダセーラ	700	40
サンタ・セシイリア	2,000	80
セルタネーシヤ	1,000	40
コンゴニヤス	1,000	30
カルロボリス	1,000 ~ 2,000	30 ~ 60
カ ス ト ロ	3,000 ~ 4,000	60 ~ 60
ボンタタ プロツサ	1,200 ~ 2,500	30 ~ 40
ビライ・ド・スール	200 ~ 500	40
ク リ チ ー バ	1,500	60 ~ 100
アラウカリア	1,000	50
カンピーナ・グラランテ	800 ~ 1,000	60

地 名	土 地 代	借 地 料
タ ト ク ツ ー ラ	アルケール 1,500	年間 アルケール 30 ~ 50
サンジヨゼ・ド・スピニヤイス	1,000 ~ 2,000	50
ロ ン ド リ ー ナ	2,000 ~ 4,000	150 ~ 200
パ リ ア ー ノ	3,500 ~ 4,000	60 ~ 90
ローレナ 植民地	5000	40
ガラベーラ	1,000 ~ 1,500	70 ~ 100
ローランシヤ	4,000	100
アラボニガス	3,000 ~ 5,000	80 ~ 100
アラカランダ	1,000 ~ 1,500	100
マ ウ ア	400	50
マリニンガ	4,000 ~ 6,000	100 ~ 200
サンジヨーシ	800	50
ジ ュ サ ラ	1,200	40
グルゼイロドオエステ	2,000 ~ 2,500	40 ~ 70
タベジヤーラ	500 ~ 1,000	50
ラーラ・ボア	1,500	50

ガラシオーザ	500 ~ 800	20	ト	レ	ー	ド	300 ~ 400	40
トワツパンシ	800 ~ 2,000	40 ~ 70	ウ	ビ	ラ	ダ	400	30
ウマラ	1,500 ~ 3,000	100	テ	ー	キ	リ	1,000 ~ 1,200	70
グアイラ	500	200	パ	ラ	イ	ソ	300	40 ~ 60
日光植民地	300 ~ 1,000	—	ロ	テ	ン	ダ	1,000 ~ 1,600	50 ~ 70
ブルーバフイケラ	2,000	—						
バラナバイ	2,000 ~ 4,000	100						
平			物				1,785	70

表49 在パラナ州移住者の事業団融資利用現況(含, 移住振興)

融資年度	件数	融資金額 コント	平均 コント	主作物	備考
1960	4	600	150	コーヒー 陸稲	3 1
61	2	500	250	コーヒー 雑作	1 1
62	17	8,500	500	コーヒー 雑作	15 2
63	6	2,530	421	雑作 コーヒー	1 3 2
64	13	10,796	634	トマト 養鶏 コーヒー	1 3 2 2 2
65	4	5,400	1,350	コーヒー 雑作	2 1 1
計	46	28,320	650		

(注) (1) 上表の融資件数は他州在住の時に融資を受けたものも含む。

(2) 65年度の融資金額については表50を参照のこと。

表 50 65年度在巴拉ナ州移住者の事業団融資貸付実績表  
 (1965年4月1日～66,1,31現在)

地区	申込件数	貸付件数	融資金額	平均	主作物
ロンドンリーナ	5	5	6,900	1,380	そば, コーヒー
アサイ・ウライ	3	3	3,400	1,130	棉, コーヒー, 栗樹
ローランシヤ	3	3	3,500	1,170	コーヒー
アラボンガス	1	1	800	800	コーヒー
マウア	1	1	1,600	1,600	コーヒー, 雑作
アラルーバ	1	1	1,200	1,200	コーヒー, そば
バイサンドワ	1	1	1,600	1,600	コーヒー, 雑作
シアノルヂ	1	1	1,600	1,600	コーヒー
日光	2	2	2,100	1,050	コーヒー, 雑作
イボラシ	1	1	—	—	雑作
バラナバイ	5	5	7,000	1,400	そば
ヴェンセスロウブラス	1	1	1,200	1,200	そば
クリチーバ	4	3	5,250	1,750	そば, パタタ
計	29	27	36,150	1,376	



表 51

## 家族移住者の独立時における独立資金調達状況 (A)

独立資金 家族 年次	自己資金		借				入				合		計	
	金額	%	事業 金額	%	銀行 金額	%	組 金額	%	その他 金額	%	金額	%		
														金額
1951	コト		コト		コト		コト		コト		コト		コト	
52														
53														
54	2	845	73.7		200	17.5			100	8.8			1,145	100
55	1	150	100.0										150	100
56	3	750	87.4					50	60	6.9			860	100
57	1	200	55.5										360	100
58	2	600	50.0										1,200	100
59	17	3,357	75.1		150	3.6			960	21.3			4,467	100
60	27	9,000	73.8		100	0.8		50	2,302	18.8			12,202	100
61	17	4,810	74.4		150	2.3		200	890	13.7			6,470	100
62	39	30,500	73.6		6,800	16.7			800	1.9			41,350	100
63	28	14,480	75.0		2,150	11.5		180	1,300	6.8			19,190	100
64	26	28,150	75.2		6,330	16.9		500	1,800	4.8			37,420	100
65	11	11,360	65.4		1,500	8.6		500	0	2.8			17,360	100

(注) 百分率は各年度の資金調達総額に対する%である。

表 52 単独青年移住者の独立時に於ける独立資金調達状況 (A)

独立年次	独立資金 家族数	自巴資金		借 入						合 計	
		金額	%	事業団		銀行		租 合		金額	%
				金額	%	金額	%	金額	%		
1956	1	550	52.4	200	19.1			300	28.5	1,050	100
57											
58	1	400	7.6	850	16.5	100	1.8	1,500	2.50	2,548	4.90
59	2	5,400	28.6	850	4.9	400	2.2	12,300	64.3	18,950	100
60	8	700	70.0			50	5.0	100	10.0	1,000	100
61	9	5,512	56.7	350	3.5	3,600	37.0			268	2.8
62	8	730	23.4	1,650	52.6	150	4.6			600	19.4
63	12	2,650	23.7	600	5.6	500	4.4	380	3.4	7,000	62.9
64	18	5,135	27.4	4,300	22.8	2,950	15.7	2,920	15.6	3,470	18.5
65	21	26,750	58.6	1,200	2.8	2,200	4.9	3,800	8.5	11,610	24.9

(注) 百分率は各年度の資金調達総額に対するものである。

1951年に独立のもの1件は妻の所有地をそのまま引受け、独立調達資金0。

表 53

地域別生活費一覽

地域	地区名	家族数	総人員	総生活費	5人当り生活費
				(月当り)	(月当り)
北部 (旧 コ ー ビ ー 生 産 地 帯)	カンパラ	15	96	1,148,165	59,800
	アンシラ	4	26	437,150	84,050
	バンデラント	8	29	677,550	121,887
	サンタマリアーナ	2	14	242,740	91,690
	アサイ	52	298	4,292,371	70,340
	ウライ	13	62	1,098,502	88,590
	ジヤタイジニヨ	8	29	532,157	91,750
	イビポラン	3	21	394,400	93,905
	サンジエロニモダ・セーラ	2	9	186,852	103,805
	サンタ・セシリアド・パウオン	2	9	228,100	126,720
	セルタネーシヤ	7	46	411,380	44,715
	サント・アントニオ・ド・バリ	3	15	223,110	74,340
	コンゴインヤス	5	26	245,920	47,290
東部	カルロポリス	19	92	1,400,580	76,110
	サンターナ・ド・イタラレ				
	ヴェニセスロウブラス				
	ジョアキンタポーラ				
南東部	ピライド・スール	5	20	483,770	120,940
	カストロ	9	44	3,054,240	347,070
	ボントグロツサ	10	33	1,245,060	188,650
	バルメイラ				
	クリチーバ	11	80	1,974,220	124,675
	アラウカリア	7	25	554,630	110,925
	コンテンド				
	サンジョゼ・ドス・ピニトイス	9	56	1,157,020	103,305
	カンピーナ・グランデ・ド・スール	6	37	725,940	98,100

表 (1965年9月現在)

単位 クルセイロ

自給率	米%	野菜%	作物	農業地位				備考
				独	借	分	雇	
80	100		雑作	6	2	8	1	
100	100		コーヒー, 雑作		1	3		
70	90		野菜, 養鶏, 果樹	1		1	6	
50	100		コーヒー, 雑作	1		2		
25	88		コーヒー, 綿, ブドウ	14	6	27	8	
61	92		コーヒー, ラミー, 綿	8	2	6	4	
63	90		綿, ブドウ	3	2	3		
100	100		綿	2	1			
100	100		雑作(米, 綿, ミーリヨ)	2				
50	100		コーヒー, 植米	1	1			
45	100		綿, ミーリヨ	4	3			
100	100		コーヒー	1		1	1	
100	100		米, フェジヨン, ミーリヨ		5			
100	100		野菜(トマト), 養鶏	10	7		12	パトリモンオ・ド・パス近郊
				3	1			
				4			4	
				1	1			
0	100		バナナ, 小麦	1	4		1	
22	66		バナナ, 小麦, 野菜	10	9	1	26	
30	90		バナナ, 小麦, 野菜	3	5	2	16	
				3	1	2		
60	100		バナナ, 野菜, 養鶏	5	8		1	グラシオーザを含む
25	100		バナナ, 野菜, 養鶏	2	4	1	4	
			バナナ	2				
0	100		野菜(トマト), バナナ	3	7		1	
0	100		野菜(トマト), 養鶏	3	3		1	

地域	地区名	家族数	総人員	総生活費	5人当り生活費
ロ ン ド リ ー ナ	10	60	945,118	78,760	
パリアーノ(ロンドリーナ)	5	21	386,070	91,920	
ローナ植民地(ガーベ)	11	52	851,560	81,880	
ガラベ—ラ	18	93	1,674,040	120,000	
ローランジヤ	12	66	613,330	45,705	
アラボンガス	23	144	1,990,760	69,120	
アプカラナ	15	95	1,358,055	71,475	
マウ—ア	11	63	967,960	76,825	
マリアルバ	9	30	689,010	111,835	
マンダグアリ	2	9	113,820	63,230	
マリンガ	23	129	1,964,200	76,135	
サンジョ—ジ	15	80	1,101,430	68,845	
フロレスタ	5	29	215,750	37,200	
北 西 部	バラナバイ	5	31	726,610	117,195
	フロライ(ノーバエスペランサ)	7	46	324,010	35,215
	アルト・バラナ	2	7	165,600	118,280
	テ—ラ・リツカ	4	25	565,970	113,195
	ノーバエスペランサ				
	パライゾ・ド・ノルテ	4	19	176,645	46,485
	タンボアラ	7	30	460,200	76,700
	ロ—ア—ダ	4	24	254,140	52,450
	ジアマンテドノルテ	4	21	361,674	86,105
	ジュサ—ラ	2	11	97,480	44,305
西 部	テ—ラポア	3	15	231,050	77,015
	シアノルテ	7	39	615,280	78,880
	タベシヤラ	9	62	533,280	43,005
	クルセイロ・ド・オエステ	3	15	305,500	84,860

米%	野菜%	作物	農業地位				備考
			独	借	分	雇	
0	100	野菜(トマト)	2	3	1		
20	100	野菜, 果樹	1	5	2	2	
60	100	野菜, 綿, ブドウ	2	1	2		
70	100	コーヒー, 野菜, 果樹	1		10		
100	80	コーヒー, ラミー, 養鶏	7	1	9	2	
100	100	野菜, コーヒー			12		
90	95	コーヒー	3	1	14	6	
80	80	コーヒー, 養鶏, 野菜	5	2	9	1	
90	100	パタタ, 雑作	8	2	1	3	
56	80	コーヒー	1		9		
100	100	コーヒー	2				
35	100	野菜	8	8	4	5	
55	92	コーヒー	2	1	8	4	
100	100	コーヒー		5			
20	100	野菜	4	1		1	
86	100	コーヒー		1	5	2	
50	50	コーヒー			3		
25	100	コーヒー	2		2	1	
		コーヒー			5		
50	100	ハツカ, 養豚, コーヒー	1		3		
43	45	コーヒー			7		
50	100	コーヒー	3		1		
50	75	コーヒー			3	2	
0	100	コーヒー	1		1	1	
100	25	コーヒー	1		2		
56	100	コーヒー, 野菜, 落花生	2	1	3	2	
90	100	コーヒー, 綿	9				浩栄植民地
65	100	コーヒー, 雑作	2		1		

地域	地区名	家族数	総人員	総生活費	5人当り生活費
西部	ウマラマ	5	22	217,420	49,415
	日光植民地(マリアエレナ)	29	172	1,928,205	56,050
	グレンバファイゲラ(ク)	9	58	571,085	57,850
	コロニアインド・イバイ(ク)	4	19	171,560	45,150
	グアイラ	19	103	1,243,370	60,351
	ウピラタン	17	90	1,009,850	56,105
	カスカーベル				
	トレード	13	69	746,000	54,060
	アンス・シヤタンブリアンド	10	72	994,285	69,050
	ロンドン	4	20	291,520	72,880
	計	532	2,904	4,604,257.4	79,275

(注) 調査したうち生活収支が明らかでない  
総人員は生活収支明らかなもののみ  
の家族総数)の覧に記されてある数  
(雇用農単身者の場合、生活収支

自給率		作物	農業地位				備考
米%	野菜%		独	借	分	雇	
100	100	コーヒー、野菜、雑作	3		2		
100	100	コーヒー、雑作	29				
89	96	コーヒー、雑作	9				
100	100	コーヒー、雑作	1			2	
56	100	ハツカ、綿、雑作	15	5	6	3	
62	92	ハツカ、雑作	8	5	4	2	
			2	2	1		
90	100	野菜、雑作	13	3	2		
90	100	ハツカ、コーヒー	10			1	
25	100	コーヒー		1	2	1	
60	95		250	122	192	127	

いものも含まれており、上記、家族数及び

抽出したので、農業地位（これはその地域

字とは一致しない。

は明らかでない場合が多い。）

表 54

生産物地域別の租収入と

生産物	地 名	租 収 入 年間 コント	家族数	1戸当租収入 年間 コント	5人家族の生活費 月 クロセイロ
コ ー ヒ ー と 雑 作	カ ン バ ラ	14,250	4	5,563	5,5020
	マ リ ア ル バ	18,000	2	9,000	66,815
	マ リ ン ガ	25,955	6	4,326	75,945
	シ ア ノ ル テ	6,000	2	3,000	77,050
	ウ マ ラ マ	2,270	2	1,135	44,415
	グ レ ー バ フ イ ゲ ー ラ	14,542	8	1,818	54,750
	ア シ ス	9,890	5	1,978	54,750
	ロ ア ン ダ	2,780	3	927	62,800
	綿	グ ア イ ラ	26,600	5	5,320
タ ベ ジ ャ ー ラ		14,890	9	1,658	45,755
ア サ イ ・ ウ ラ イ		109,027	13	8,387	87,425
綿・ コ ー ヒ ー	ア サ イ ・ ウ ラ イ	38,618	13	2,971	99,065
綿・ 豚	グ ア イ ラ	8,980	3	2,993	86,920
バ タ タ	ポ ン タ グ ロ ツ サ	184,600	7	2,637	187,555
	カ ス ト ロ	597,300	8	74,663	372,670
	ピ ラ イ ド ス ー ル	87,950	3	29,317	118,035
	マ ウ ア	12,630	5	2,526	79,900
バ タ タ ・ 菜	ク リ チ ー バ	152,100	8	19,025	136,085
ハ ッ カ	ウ ビ ラ タ ン	73,000	3	24,333	179,000
	ア シ ス	21,600	2	10,800	110,110

1戸当り1ヶ月の生活費

生産物	地 名	租 収 入 年間 コント	家族数	1戸当租収入 年間 コント	5人家族の生活費 月 クロセイロ	
セ 菜  ( ト マ ト )	ロ ン ド リ ー ナ	17,380	8	2,172	75,135	
	ア ラ ボ ン ガ ス	4,680	2	2,340	62,030	
	ア ブ カ ラ ナ	5,100	2	2,550	95,315	
	マ ウ ア	6,790	2	3,396	71,150	
	マ リ ン ガ	47,350	12	3,945	88,517	
	ウ マ ラ ヤ	5,800	2	2,900	63,468	
	バ ラ ナ バ イ	23,900	5	4,780	116,710	
	ア サ イ ・ ウ ラ イ	2,000	2	1,000	53,670	
	カ ル ロ ボ リ ス	29,600	7	4,228	69,516	
	ク リ チ ー バ	104,700	10	10,470	101,648	
	養 殖 ・ セ 菜	ク リ チ ー バ	46,100	4	11,525	126,520
	コ ー ヒ ー ・ 菜	ア シ ス	12,400	2	6,200	103,150
	雑       作	カ ン バ ラ	13,000	3	4,333	69,850
カ ル ロ ボ リ ス		3,510	3	1,170	66,115	
コ ン ゴ ニ ア ス		6,540	5	1,308	49,166	
ア サ イ ・ ウ ラ イ		5,750	2	2,875	67,185	
ガ ラ ベ ー ラ		7,940	5	1,588	44,558	
ク ル セ イ ロ ド オ エ ス テ		2,250	2	1,125	106,230	
ト レ ー ド		9,850	9	1,094	51,230	
ウ ビ ラ タ ン		4,200	6	700	39,355	
ガ イ ラ		7,203	3	2,400	48,035	

表 55

## 独立農・借地農の資産状況(A)

(独立者 207 件・借地者 88件)

単位千クルセイロス

農業型態	品目	独立			借地			
		総額	%	1戸当りの平均	総額	%	1戸当りの平均	
資 産	固定資産	土地	2,248,473	61.7	10,813	832,484	52.9	9,460
		家屋	222,220	6.1	1,074	20,470	1.4	233
		倉庫	52,260	1.4	252	12,500	0.8	142
		畜舎	32,516	0.9	152	4,260	0.4	48
		設備	91,210	2.5	441	67,490	4.4	767
		機械器具	650,829	17.8	3,144	536,486	33.5	6,095
		家畜	176,243	4.8	851	32,173	2.2	365
		家具什器	174,903	4.8	845	67,108	4.4	763
		小計	3,648,654		17,626	1,572,971		17,874
資 産	流動資産	組合出資金	48,037		232	19,922		226
		現金・預金	432,295		2,088	146,825		1,668
		在庫品	197,969		956	27,258		310
		植付中作物	96,643		4,674	1,008,562		11,461
		小計	1,644,944		7,965	1,202,567		13,665
合計		5,293,598		25,591	2,775,538		31,540	
負 債	未払金	241,026		1,164	34,143		388	
	借入金	55,5487		2,684	143,530		1,631	
	小計	796,513		3,848	177,673		2,019	
差引合計		4,497,085		21,744	2,597,865		29,521	

(上記の百分率は固定資産総額に対する固定資産各々の百分率である)



表 56

独立者の資産状況 (B)

単位：1000クムゼイロス

資 産 金 額	家 族 数
～ 5,000	28
5,001 ～ 10,000	50
10,001 ～ 20,000	56
20,001 ～ 30,000	35
30,001 ～ 50,000	23
50,001 ～ 100,000	11
100,001 ～	4
	207

平均値 19,000

注(資産表の明確は207件のみ)

表 57

独立農地域別資産

資産負債	土 地	家 屋	倉 庫	畜 舎	設 備	機 械	家 畜
カンバラ	19,020	2,670	150	40	656	2,132	822
カルロポリス	4,802	340	131	125	1,700	918	1,166
セルタネージャ	4,043	666	100	50		93	2,363
アサイ・ウライ	10,477	884	236	163	423	2,718	737
カストロ	22,327	2,590	1,700	166	2,025	13,400	2,163
ボンタクロソサ	6,703	1,380	666	160	466	18,500	1,210
クリチーバ	3,143	1,031	321	844	1,100	4,013	4,107
ロンドリーナ	8,355	1,049	169	80	957	405	357
マウア	4,051	370	105	120	185	3,219	560
マリンガ	13,195	1,156	175	27	504	2,740	725
ローランジャ アブカラナ	24,700	1,670	230	420	810	3,060	1,866
クロゼイロ・ド・ オエステ	9,163	645	202	55	27	578	550
ウマラマ	11,000	302	162	14	170	142	505
グアイラ	5,574	1,401	213	136	250	3,700	1,046
日光植民地	4,695	350	72	18	28	363	539
グレーバフィゲラ	19,355	955	201	93	340	1,718	262
バラナイバイ	2,750	1,050	25	30	815	3,210	282
トレード	3,740	1,120	180	271	100	1,375	811
ウピラタン	6,541	2,387	200	200	1,000	502	704
トッパンジー	17,260	1,715	341	120	350	2,402	787
平均	10,813	1,074	252	152	441	3,144	851

[平均は第 表の資産状況表による]

状況 (一戸当り平均)

単位・1000クルゼイロ

家 具	出 資 金	現 金 預 金	在 庫 品	植 付 中 作 物	小 計	未 払 金	借 入 金	差 引 会 計
610	14	1,150	1,432	1,920	30,616	4,600	420	25,596
707	192	450	395	2,462	13,388	1,020	6,075	6,293
956	333	617	1,280	633	11,134		425	10,709
1,111	91	1,858	540	1,308	20,596	642	1,593	18,361
1,048	1,566	26,421	3,241	23,175	97,659	5,575	17,665	74,419
1,080	1,008	3,270	313	28,300	64,056	3,500	17,660	42,896
1,032	376	516	599	3,721	22,803	726	2,231	19,746
526	37	434	570	1,033	13,977	1,094	1,071	11,812
1,159	104	421	311	4,714	15,319	34	2,721	12,564
1,162	60	2,956	2,504	1,135	26,339	40	1,428	24,871
2,090	26	7,775	1,916	4,000	48,563	570	3,920	44,073
503	13	557	547	982	13,822	45	271	13,506
465		2,278	311	1,165	16,514		200	16,314
916	161	1,121	412	1,326	16,256	1,971	771	13,514
614	96	311	635	776	8,497	121	705	7,671
341		1,919	1,585	1,053	27,922	7	533	27,382
676	307	987	433	2,950	13,515	411	1,341	11,763
808	5	137	468	652	9,737	550		9,187
704	700	1,200	1,510	610	18,258	1,360		14,898
917	25	610	1,121	3,017	28,668	610	400	27,658
845	232	2,088	956	4,674	25,591	1,164	2,584	21,744



図1 在巴拉ナ州移住者の州別年次別入植表 B)

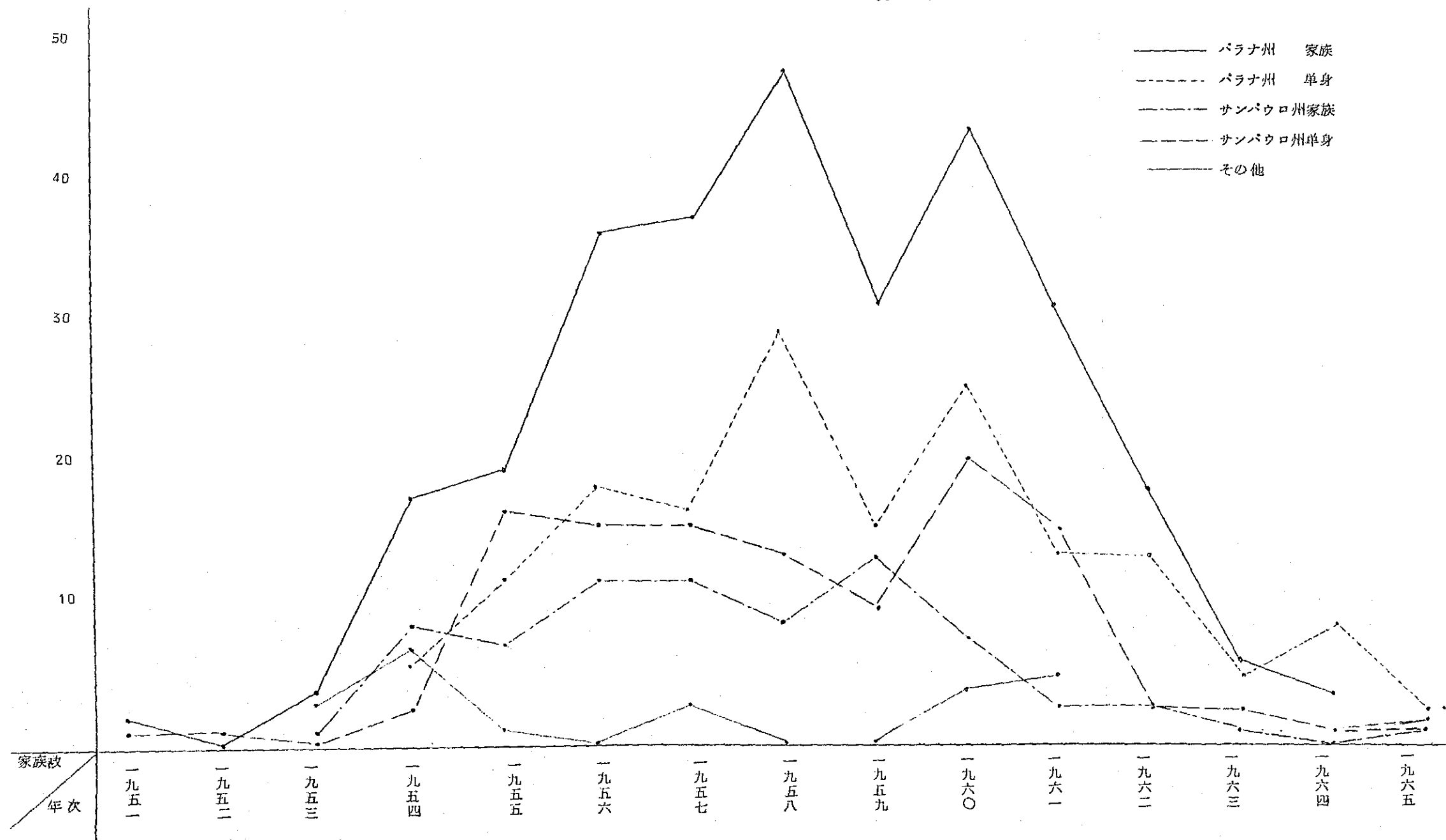
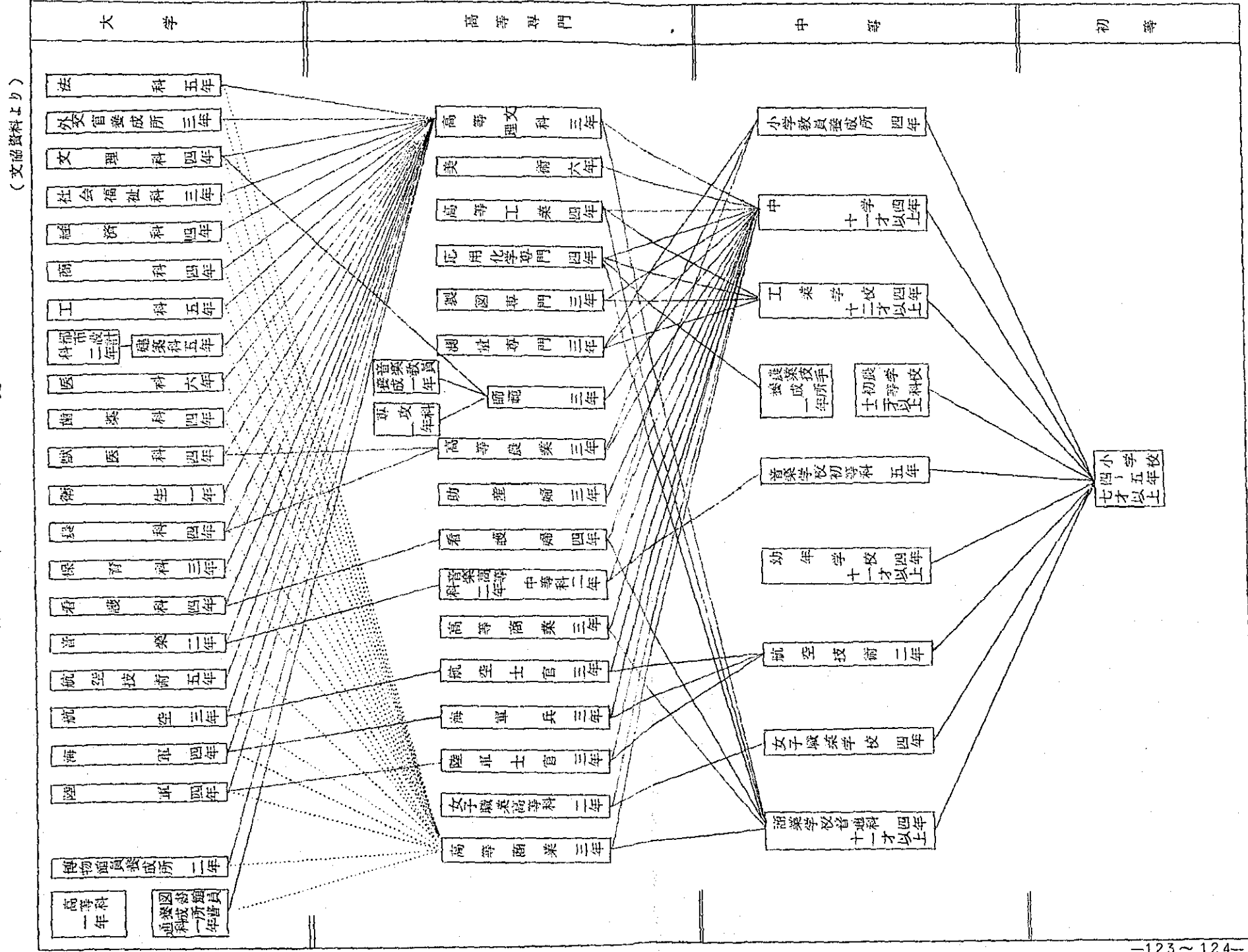
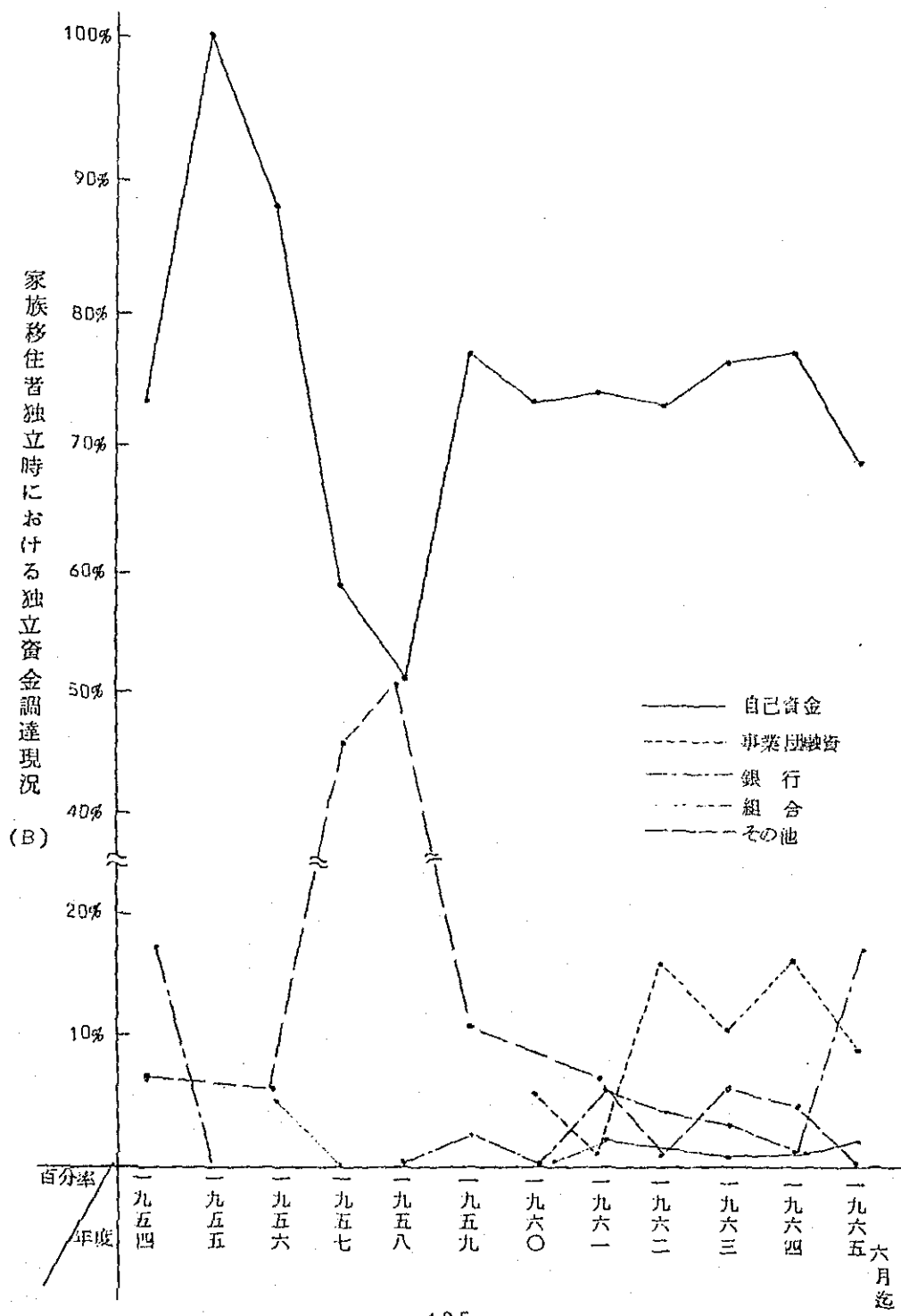
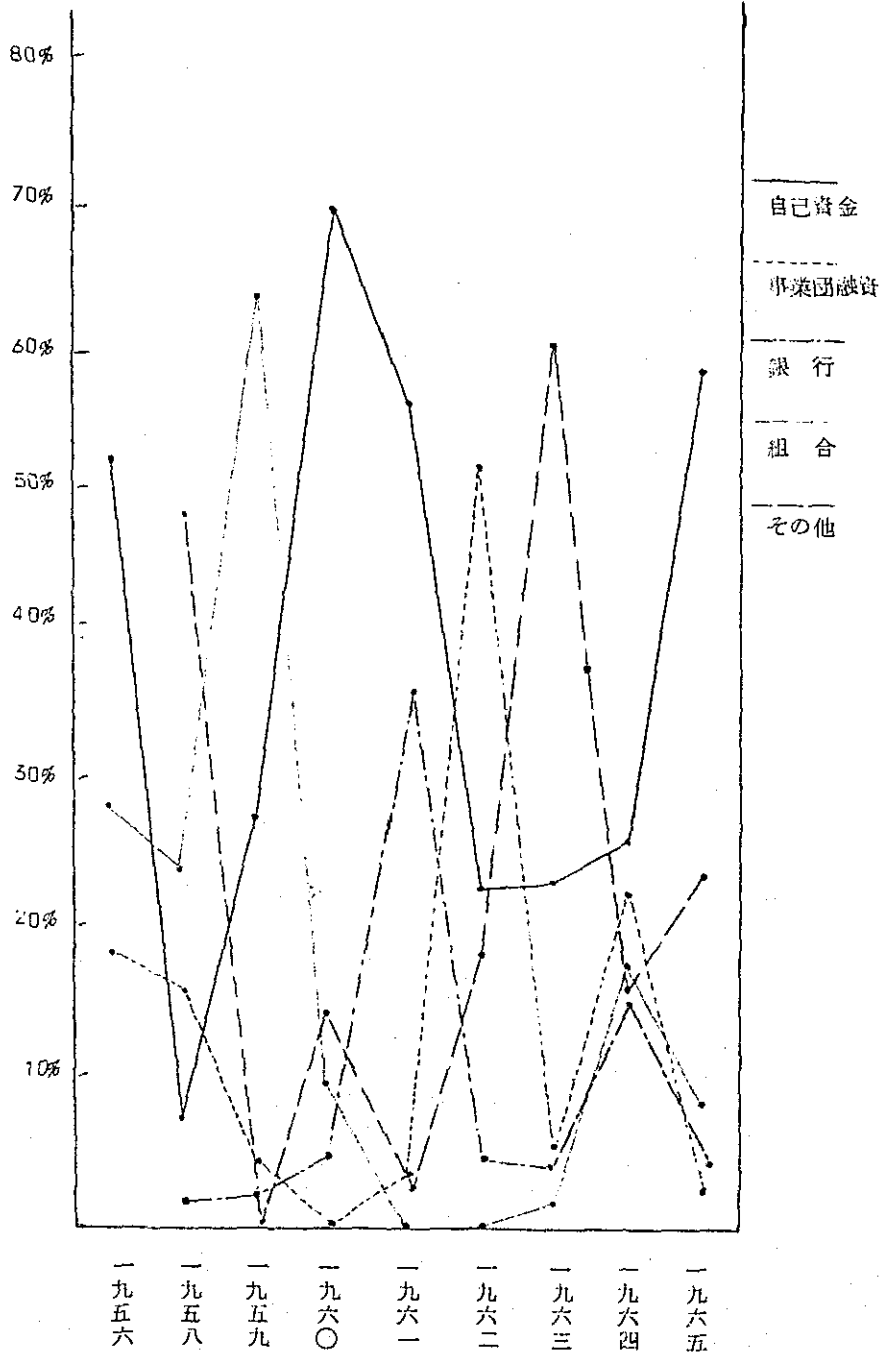


图2 伯国教育制度一览表





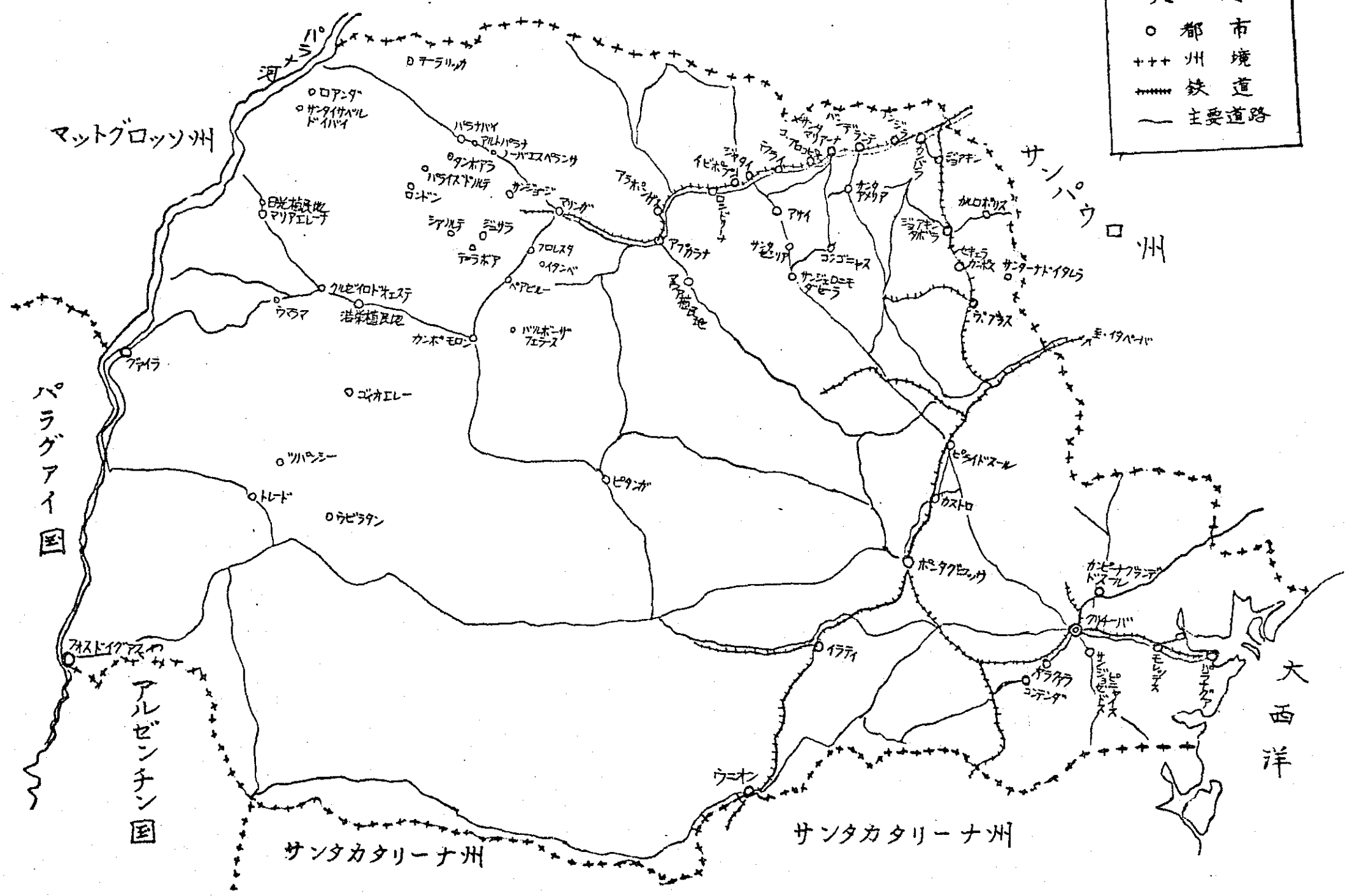
単独青年移住者の独立時における資金調達状況 (B)



# パラナ州略図

凡例

- 都市
- +++ 州境
- ++++ 鉄道
- 主要道路





付 雇用農の新規独立による所要経費  
(5a1qs を基準として)

付 雇用費の新規独立による所要経費(5<sup>alqs</sup>を基準として)

1. 土地購入費

ロンドリーナ市より20 km 以上の距離, (平均地価)

1 アルケール当り 3,000,000, cr \$ 以上, 従って5<sup>alqs</sup> を購入すれば, 5<sup>alqs</sup>  
 $\times 3,000,000 \text{ cr } \$ = 15,000,000 \text{ cr } \$$

2. 土地購入手続費用

評価額の25%程度, 従って上記の土地では1件 cr \$ 500,000 程度

3. 伐開費

請負による, 山伐及び焼却費, 1<sup>alqs</sup> 当り 200,000 cr \$ 従って5<sup>alqs</sup>  $\times$   
 $200,000 \text{ cr } \$ = 1,000,000 \text{ cr } \$$

4. 管理費(諸経費)

a) カフェー植付費用

1<sup>alqs</sup> 当り1,800 株植付予定では次の通り,

$(1,800 \text{ 株} \times \frac{\text{苗代}}{200}) + (1,800 \text{ 株} \times \frac{\text{植付費}}{50}) = \text{cr } \$ 450,000$ を要する。

従って2<sup>alqs</sup>では, 植付に要する費用は cr \$ 900,000

b) カフェー植付管理費

一般に管理費は, カフェーの間作としての雑作栽培の収益によって充当してゆけるが, その内訳は次の通り

1年目(間作) = 2<sup>alqs</sup>

米	50 <sup>s</sup>	$\times$	6,000	cr \$	経費	cr \$	=	cr \$
					50,000			250,000
フエジョン	30 <sup>s</sup>	$\times$	10,000		50,000		=	250,000
棉	300	アローバ	$\times$	4,000	600,000		=	<u>600,000</u>
								<u>1,100,000</u>

2年目(間作)

米	50 <sup>s</sup>	$\times$	6,000	cr \$	経費	cr \$	=	cr \$
					50,000			250,000
フエジョン	20 <sup>s</sup>	$\times$	10,000		50,000		=	250,000
棉	300	アローバ	$\times$	4,000	100,000		=	<u>600,000</u>
								<u>1,100,000</u>

3年目(間作)

米	20 <sup>s</sup>	×	6,000	cr \$	経費	cr \$	=	cr \$
					20,000			100,000
フエジョン	10 <sup>s</sup>	×	10,000		20,000		=	80,000
棉	100 <sup>アローバ</sup>	×	4,000		200,000		=	<u>200,000</u>
								<u>380,000</u>

4年目(間作)

間作は殆んど不可能である。

カフェー収穫始る

60 <sup>s</sup>	×	10,000	cr \$	経費	cr \$	=	cr \$
				200,000			<u>400,000</u>

次年度より漸次収量が増加してゆく、従って入植者は、カフェーの植付を主体とした場合は、これに頼って生計をたててゆくことになる。

c) 果樹植付計画

I	ミカン	0.5 <sup>alqs</sup>	×	400本	×	苗木	cr \$	=	280,000 cr \$
					×	植付費用	400 <sup>cr \$</sup>	×	150 <sup>cr \$</sup>
								=	<u>60,000</u>
									<u>340,000</u>
II	アバカテ	0.5 <sup>alqs</sup>	×	300本	×	苗木	cr \$	=	300,000 cr \$
					×	植付費用	300 <sup>cr \$</sup>	×	150
								=	<u>45,000</u>
									<u>345,000</u>

上記の植付仮例より、植付後生産期に入るまでの間、約3ケ年は間作として管理費に充てることができるが、これらは、カフェーの植付管理費に準ずる。

III ブドウ(ニヤガラ種) = 1年目の植付費用

0.5 <sup>alqs</sup>	×	1,000本	について					
支柱費	1,000本	×	2,000	cr \$	=	2000,000	cr \$	
針金費	1,000	×	800		=	800,000		
雑費(人夫費)	"	×	500		=	500,000		
肥料野菜	"	×	200		=	<u>200,000</u>		
								<u>3,500,000</u>

ブドウの場合は、3年目より生産期に入るが、それまでは、間作が不可能であること、及び管理費の支出が多く、従って3年目より純益を挙げることは難し

い。尚イタリア種の場合、これの40%増の管理費を見込まなければならない。

d) 雑作

I 棉作(新開地1<sup>alqs</sup>)

諸経費	種子	5,000 <sup>cr \$</sup>	}	1,150,000 <sup>cr \$</sup>
	農薬	800,000		
	人夫, 管理費	300,000		

棉收穫

$$300 \text{ アローバ} \times 4,000 \text{ cr \$} = 1,200,000 \text{ cr \$}$$

$$\text{差引利益} \quad \underline{50,000 \text{ cr \$}}$$

II 蔬菜 0.5<sup>alqs</sup>

主作にトマテ栽培

$$\text{諸経費} \quad 5,000 \text{ 本} \times 400 \text{ 経費} = 2,000,000 \text{ cr \$}$$

$$\text{收穫} \quad 5,000 \text{ 本} \times 150 \text{ cr \$} \times 5,000 = 3,750,000 \text{ cr \$}$$

$$\text{差引利益} \quad \underline{1,750,000 \text{ cr \$}}$$

e) その他

養豚, 種豚(2ケ川のもの)を購入育成を図った場合。

$$2 \text{ 頭} \times 50,000 \text{ cr \$} = 100,000 \text{ cr \$}$$

飼料費(ミ-リヨ 80%, 他混合飼料 20%の見込で)

$$\{ (2 \text{ 頭} \times 5,000 \text{ cr \$}) + (2 \text{ 頭} \times 5,000 \text{ cr \$}) \} \times 6 \text{ ヶ月} = 120,000 \text{ cr \$}$$

これを土台として繁殖, 肥育を行っていくことになる。普通の肥育法によると販売までは, 約1ケ年を要している。又普通農家の場合は, 放任状態に近いものが多く, 実際に成績を挙げているのは少ない。

5. 農機具購入費

I	背負式噴霧機	1台	=	80,000
II	撒粉機	1台	=	80,000
III	小農具類(エンシヤーダ, マツシヤード, etc)		=	50,000
IV	エンセラード	2枚 × 5 <sup>m</sup> × 5 <sup>m</sup>	=	200,000
V	モートル, ポンパ	3HP, ホース 100 <sup>m</sup>	=	<u>1,000,000</u>
	計			<u>1,410,000 cr \$</u>

6. 生活費(5人家族のもの6ヶ月分)

主食(米)	15,000 <sup>cr</sup> \$	×	6ヶ月	=	90,000 <sup>cr</sup> \$
副食	70,000	×	6ヶ月	=	420,000
その他	15,000	×	6ヶ月	=	<u>90,000</u>
計					<u>600,000<sup>cr</sup>\$</u>

7. 家屋建築費(木造平屋と倉庫)

I 木造平屋(瓦葺, 土間, 天井無, 窓付, 4部屋, 6 × 12)

○材料費  $90^{m^2} \times 20,000^{cr} \$ = 1,800,000^{cr} \$$

○大工賃  $72^{m^2} \times 5,000 = 360,000$

II 倉庫(瓦葺, 3 × 4)

$12^{m^2} \times 20,000^{cr} \$ = 240,000^{cr} \$$

III 井戸堀  $20^m \times 5,000^{cr} \$ = 100,000$

計 2,500,000<sup>cr</sup>\$

8. その他諸経費

その他の諸経費については、夫々の経営及び設備内容によって異ってくるものと思われる。

9. 結び

上記の営農計画は、ロンドリーナ近郊における借地分益費等より、新たに5<sup>olqs</sup>の土地を購入し、コーヒー2<sup>olqs</sup>と果樹1<sup>olqs</sup>に柿、蔬菜、雑作等を取り入れた営農で独立する場合の諸経費の概算表ではあるが当然バラナに於ける営農形態としては、独立することは不可能であり、例えば、記述の夫々の内容を可能な限り組合せたものと、その経営の中軸として計画してゆくより方法がない。

土地代及び諸物価の上昇を考えると、新たに土地を購入独立営農を行うことは容易なことではない。

